第 74 回　定例理事会

議　事　録（正）

令和 7 年 4 月 22 日

公益社団法人　劇場演出空間技術協会

公益社団法人　劇場演出空間技術協会（JATET）

第 74 回　定例理事会　議事録（正）

日　　時：令和 7 年 4 月 22 日（火）14：00～16：20
場　　所：JATET 会議室
　　東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル　TEL：03-5289-8858

出 席 理 事：伊東 正示 会長、
　　西村 岩夫 副会長（事業担当）、
　　清水 康裕 副会長（財務担当）、
　　市瀬 守　 副会長（総務担当）、
　　小川 幹雄 理事（国際渉外担当）、
　　中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）

Web 出席理事：西 豊彦 理事（コンプライアンス担当・広報担当）、
　　西奈美 博 理事
　　長谷川 祥久 理事
　　森 健輔　理事

欠 席 理 事：横井 裕　理事

Web 出席理事：間瀬 勝一、尾澤 輝行

有効理事総数　11 名、出席理事　10 名、欠席理事　1 名
　　出席率　91％ 事務局（1 名）、計 11 名

議事録署名人（書記）西 豊彦

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数　11 名中、10 名の出席、事務局（1 名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第
1.議長選出
2.議事録記録署名人選出

議事
3.報告事項

1)業務報告	伊東 正示 会長
2)事業報告	西村 岩夫 副会長
3)財務報告	清水 康裕 副会長
4)総務報告	市瀬 守　 副会長
5)国際協力報告	小川 幹雄 執行理事
6)コンプライアンス報告	西 豊彦　 執行理事

7)広報報告　　西 豊彦　執行理事
8)規程改訂作業部会報告　　中川 堅司 専務理事
9)事務局報告　　中川 堅司 専務理事
10)その他

4.審議事項

第1号議案	令和6年度事業報告承認の件	資料-1
第2号議案	令和6年度収支決算報告承認の件	資料-2
第3号議案	令和7年度通常総会議事次第承認の件	資料-3
第4号議案	令和7年度通常総会 懇親会の件	資料-4
第4号議案	新年度事業について（フォーラム・Inter BEE・音響部会セミナー）	資料-5
第6号議案	JATETダウンロードの件（会員・全公文加盟会館向け）	資料-6
第7号議案	ホームページ改修検討委員会の件	資料なし
第8号議案	JATET-L-25010 演出空間用照明器具（軸対称配光）発行の件	資料-7
第9号議案	正会員C　下園 浩人氏　退会の件	資料-8
第10号議案	正会員C 草加 叔也氏 退会の件	資料-9
第11号議案	賛助会員B ジンシル・ハン氏 退会の件	資料-10
第12号議案	ミンソク・カン氏 賛助会員B 入会の件	資料-11
第13号議案	（公財） 川口総合文化センター 賛助特別 入会の件	資料-12
第14号議案	正会員A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社 名嶋 雅行 氏　教育研修部会 退部の件	資料-13
第15号議案	正会員A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社 海田 賢一 氏　教育研修部会 入部の件	資料-14
第16号議案	正会員A　丸茂電機（株）　中村 浩 氏　教育研修部会 退部の件	資料-15
第17号議案	正会員A 丸茂電機(株) 木村 敦則氏　教育研修部会 入部の件	資料-16
第18号議案	賛助特別（公財）せたがや文化財団　熊谷 明人 氏 機構部会 退部の件	資料-17
第19号議案	第31回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件	資料-18
第20号議案	令和7年度役員報酬の見直しの件	資料-19
第21号議案	正会員A　東芝ライテック（株）　冨永 満氏　照明部会入部の件	追加資料
第22号議案	Inter BEE 2025協力名義使用許可の件	追加資料

5.その他
1）第75回定例理事会 開催日程（8月）について
2）閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が西 豊彦 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1)業務報告 伊東 正示 会長

下記の通り、第 73 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 7 年 3 月 19 日（水） 11:30～ 第 106 回事業執行連絡委員会

令和 7 年 4 月 15 日（火） 14:00～ 第 107 回事業執行連絡委員会 を開催した。

2)事業報告 西村 岩夫 副会長 （各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

・3 月 12 日に世田谷区区民会館施設見学会を開催した。106 名が参加し無事に終了した。

・福岡市民ホールの施設見学会は、5 月 12 日に開催が決定し、現在参加申込受付中である。

・2025 年度の福岡市民ホール以降の施設見学会候補として、愛知アリーナ、東京ドリームパーク、品川開発プロジェクト、ふじみ野市のステライースト、大阪の茨木市文化・子育て複合施設おにクル、名古屋ポートベースなどを挙げている。

建築部会では、

・4 月 8 日に客席に関する建築基準法や消防法に係る各条例、指針等の改訂に向けての国土交通省との面談を行った。公明党の三浦議員にも同席いただき 「興行場等に係る技術指針」の改訂などについて意見交換した。面談後、国土交通省の企画専門官から西理事・副部会長に電話をいただき、JATET の知見への理解をいただいた結果、JATET がガイドラインを策定して、国交省や学識経験者がそれに参加する旨の提案を受けた。

JATET 内で検討し、後日改めて連絡を取ることとしている。

機構部会では、

・仮設吊物に関する欧州規格 EN17026 を JATET で購入して翻訳することを検討しているが、全てを訳すとなるとボリュームが大きく、目次、表題を確認して必要な箇所を中心に翻訳していく方向で協議中である。

また、韓国のハンイルに確認中だが、韓国内での仮設吊物の規格を見せてもらうよう要望を出している。

・年度末に部会委員が 2 名退部することになり、新年度の部会委員は 12 名となっている。

照明部会では、

・JATET-L-7190（劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン）の改定について継続審議している。

・新規格として、JATET-L-25010 演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格を発行する。後程ご審議をいただく。

・また、ビジュアルライザーの話や、ハロゲン出力表示に関する問い合わせ、接地とノイズに関する問い合わせなどを共有した。

音響部会では、
・フォーラムの発表総括を行いコネクタの展示が好評だったこと、規格文書と照合しながらの発表が良かったこと、CEE-FORM コネクタを知らない方が多かったことなどが挙げられた。また、フォーラムで、電源の極数表示が 3P とするのはおかしいのではないかという指摘があり、2P+E と表示することとした。
・舞台連絡設備研究会は、JATET-S-25010「劇場等演出空間における舞台連絡設備指針」を発行し、会員価格は 5000 円、一般価格は 7000 円で設定した。この規格の解説セミナーを近々に開催予定である。

映像部会では、
・副部会長が、山下氏より川上氏に交代することとなった。
・産休で休部していた大久保委員が 5 月に復帰する予定である。
・2025 年度の研究会では、劇場メディアの拡張性について引き続き研究していく。

広報部会では、
・JATET 誌 95 号を 3 月 7 日に発行し、広報部会から 2 名が執筆を行った。

イ．JATET 誌 95 号について
・3 月 7 日に「世界の劇場事情、ABTT（英国劇場技術者協会）技術基準の研究」を特集し 800 部を発行した。今号よりダウンロードおよび印刷のハイブリッドとし全国の主要公共ホール公共劇場への発送を廃止し関係官庁・関連団体、JATET 会員及び広告主に無償配布した。

ロ．JATET ジャーナルについて
・「水戸市民会館」は 4 月 9 日に A4 印刷を考慮した PDF ではなく、Web レイアウトとして発行した。
・「やまぎん県民ホール」は残り 1 名未原稿があり、提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う。
・「小田原三の丸ホール」は執筆者が 1 名増え、5 月末原稿締め切りとしている。

・国交省との協議は、17 日に電話で話し、国交省の提案について JATET としてはお受けし進めていきたいと回答している。今後具体的に動いていくことになる。（西理事）

3)財務報告　清水 康裕 副会長（閲覧資料-なし）
・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
・令和 6 年度の会費納入状況については全ての会員の皆さまに支払いいただいている。
・今年度分の会費請求書は今月中に発送予定で進めている。請求書が届いたら支払い期限までに振込みいただきたい。

4)総務報告　市瀬 守 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）
・毎月、清水副会長と共に総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。併せて勤怠の確認を行なっている。
・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5)国際協力報告 小川 幹雄 執行理事

・OISTAT 日本センターニュース Vol.26 を発行した。また、OISTAT 日本センターではコロナ禍のために長く開催できなかった劇場用語トークの集いを 3 月 21 日に 5 年ぶりに開催した。同じく OISTAT 日本センターの 2023 年度報告と決算予算を含めた 2024 年度総会代報告を配布した。本部年会費納付の領収証を 1 ヶ月以上経ってようやく受領した。今年から外国送金のフォーマットが更新されマネーロンダリングを防ぐために外国送金の手順がより厳しくなり時間がかかった。

6)コンプライアンス報告 西 豊彦 執行理事

・特に報告事項や問題はなし

7)広報報告 西 豊彦 執行理事

・先日、JATET 誌の新しい編集者の候補者の方と中川事務局長、古橋広報部会長、西で面談し、いろいろ打ち合わせを行い報酬についてはこちらの要望を伝えて回答を待っているという状況である。

8)規程改訂作業部会報告 中川 堅司 専務理事

・報告事項なし

9)事務局報告

イ．内閣府情報 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

・内閣府 公益法人メールマガジン 臨時号（2/26,3/10）、214 号（3/12）、臨時号（3/13）、215 号（3/26）、臨時号（3/31,4/2）、216 号（4/9）を閲覧した。
・「事業報告書等の提出」について案内が届いた。

ロ．経済産業省情報＆総務省等 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省＆総務省等）

・2025 年 3 月「価格交渉促進月間」の実施、サイバーセキュリティ経営ガイドライン Ver.3.0、中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第 3.1 版、自殺対策強化月間、フリーランス法の周知等、米国自動車関税措置等により影響を受ける中小企業との取引に関する配慮、経済構造実態調査の事前周知についての周知依頼書面が届いた。

ハ．JATET ニュース発行について 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

・3 月 4 日に第 253 号配信。
「世田谷区民会館」施設見学会 ※3 月 5 日申込締切！参加申込受付中（2025 年 3 月 12 日（水）開催）、令和 7 年度通常総会について 2025 年 5 月 30 日（金）開催、JATET ジャーナル vol.21「那覇文化芸術劇場なはーと」公開、JATET フォーラム 2024/25 資料公開、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

・4 月 14 日に第 254 号配信。
「福岡市民ホール」施設見学会参加申込受付中（2025 年 5 月 12 日（月）開催）、JATET ジャーナル vol.22「水戸市民会館」公開、JATET-S-25010「劇場等演出空間における舞台連絡設備指針」を発行、令和 7 年度通常総会（2025 年 5 月 30 日（金）開催）、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

ニ．会員情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

・正会員Ｃ　下園 浩人氏より退会届が届いた。（審議事項）
・正会員Ｃ　草加 叔也氏より退会届が届いた。（審議事項）
・賛助会員Ｂ　ジンシル・ハン氏より退会届が届いた。（審議事項）
・ミンソク・カン氏より賛助会員Ｂ　入会届が届いた。（審議事項）
・（公財）川口総合文化センターより賛助特別　入会届が届いた。（審議事項）
・正会員 Ａ　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　名嶋　雅行氏　教育研修部会退部届が届いた。（審議事項）
・正会員 Ａ　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　海田　賢一氏　教育研修部会入部届が届いた。（審議事項）
・正会員Ａ　丸茂電機（株）中村 浩氏　教育研修部会退部届が届いた。（審議事項）
・正会員Ａ　丸茂電機（株）木村　敦則氏　教育研修部会入部届が届いた。（審議事項）
・賛助特別（公財）せたがや文化財団　熊谷明人氏　機構部会退部届が届いた。（審議事項）

・正会員Ａ　（株）NHK アートより登録内容変更届が届いた。
・正会員Ａ　三精テクノロジーズ（株）より役員交代のお知らせが届いた。
・賛助特別　（公財）せたがや文化財団より登録内容変更届が届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ．諸団体情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

・全国舞台テレビ照明事業協同組合より役員交代のお知らせが届いた。
・OISTAT 日本センター劇場用語「トークの集い」の案内が届いた。
・（公財）ニッセイ文化振興財団より第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の案内が届いた。（審議事項）
・（公社）全国公立文化施設協会より令和 7 年度年会費の納入についてのお願いが届いた。
・劇場等演出空間運用基準協議会より「舞台技術の共通基礎[改訂版 2025]の案内が届いた。
・（株）映像センターより役員交代のお知らせが届いた。
・OISTAT 日本センターより 2024 年度定例総会代報告書が届いた。

・芸団協メールニュース： 531 号（3/3）、532 号（3/17）、533 号（4/1）
・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号（3/6）、163 号（3/14）、臨時号（4/11）
・全国アートマネジメント研修会配信の案内が届いた。

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ．書籍販売状況　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）
・2025 年 4 月 15 日時点で 55,000 円の売上があった。

ト．請求書情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

・JATET 誌印刷費、編集代、発送代行、フォーラム関連の請求書が届いた。
・劇場等演出空間運用基準協議会、全国公立文化施設協会より 2025 年度会費の請求書が届いた。
その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-HP アクセス解析）

JATET ホームページのアクセス解析・・・2 月の HP 閲覧状況を閲覧した。

・ 2 月のイベント数は 10,809、総ユーザー数は 1,070

リ. 事務局関連　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

・公益社団法人日本芸能実演家団体協議会より「芸術家のための互助の仕組み」の提案がなされた。実演芸術界でも人手不足、コンプライアンスの課題、少子高齢化など様々な問題があり、若年層が活動しやすくする環境整備として、文化芸術推進基本計画についての説明があった。労災保険特別加入団体を作って労災保険に加入できるようにして互助の仕組みを作り上げていきたいというものである。公益社団法人日本芸能実演家団体協議会が発起人となって、今年の秋に一般財団法人を作り、来年度よりグループ加入を対象として、1 千人の加入者を目指すということである。これは実演芸術家、及びスタッフが 万一怪我をしてしまった時に保障が受けられることを目的としている。実演芸術家が、体調不良などで公演中止となった場合の保険なども検討されており、JATET としても、関連団体として協力していくべきと考えている。

・その他、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案　令和 6 年度事業報告承認の件　　資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 1 号議案　令和 6 年度事業報告承認の件について、説明があった。

総会の議案書となる令和 6 年度事業報告書の案とする。まず会議について令和 6 年度通常総会は令和 6 年 5 月 21 日に、東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2 エッサム神田ホール 1 号館 3 階大会議室 301 号室及び Web 会議方式にて開催した。総会での審議事項は全員賛成、反対 0 名で承認されている。
定例理事会は令和 6 年度において第 69 回から 73 回まで年 5 回開催（内第 70 回は臨時理事会）し、審議事項はすべて可決承認されている。
事業執行連絡委員会は、月 1 回、年間 12 回開催している。
部会報告は、各部会長から提出された内容を記載し、1)教育研修、2)建築、3)機構、4)照明、5)音響、6)映像、7)広報の 7 部会の順に、令和 6 年度の活動について報告した。

全体的な事業として、JATET フォーラム 2024/25 を 2025 年 2 月 14 日に全電通労働会館にて開催した。前年度に続き、InterBEE 2024 に JATET 紹介の広報を目的とし参加した。
JATET 誌は、JATET 誌 94 号は、2024 年 9 月 30 日に「劇場等客席等に係る安全基準、音響電源 200V とその運用、特別寄稿「舞台照明用調光装置の系統化調査」を終えて」を特集し 2,300 部を発行した。JATET 誌 95 号は、2025 年 3 月 7 日に「世界の劇場事情、ABTT（英国劇場技術者協会）技術基準の研究」を特集し 800 部を発行した。
施設見学会を実施した JATET ジャーナル 20 号「特集：高崎芸術劇場」、施設紹介した JATET ジャーナル 21 号「特集：那覇文化芸術劇場なはーと」を発行した。
JATET ニュースは第 245 号から第 253 号まで計 9 回発行した。

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案 令和 6 年度事業報告承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案　令和 5 年度収支決算報告承認の件　　資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づき、第 2 号議案　令和 6 年度収支決算報告承認の件について説明があった。

総会の議案書となる令和 6 年度事業に係る収支決算報告の案を示す。
貸借対照表において、資産の部は前年度と比較して流動資産が 1,854,887 円増え、その他固定資産合計は 528,095 円ほど増え、資産の合計は約 2,382,982 円の増となった。負債の部の合計は 609,598 円となり、前年度より 150,000 円ほど増えている。正味財産合計は 7,052,459 円、負債及び正味財産の合計は 7,662,057 円となった。
正味財産増減内訳表の経常増減の部、経常収益について、賛助会員 A1 社、賛助特別 1 団体、賛助会員 B に 1 名入会をいただき、受取入会金は 135,000 円となった。会費収入は正会員 A が 18 社、B が 9 社、C が 24 名、賛助会員 A は 28 社、B は 32 名、特別賛助会員が 10 団体で、受取会費は 15,450,000 円となった。
事業収益は、JATET フォーラム 2024/25 セミナーを開催し、セミナー開催収益は 219,000 円となった。施設見学会は、あきた芸術劇場ミルハス、平塚文化芸術ホール、世田谷区民会館にて開催し、施設見学会開催収益は 604,000 円となった。発刊物販売収益は 264,230 円、JATET 誌の広告収益は、94 号 21 社、95 号 18 社の掲載があり合計 8,778,000 円の収益となった。

経常費用の事業費について、部会費は約 377,115 円となり計画予算に対して、部会費の費用が少ないため、次年度は事業計画を実施していくように努めていく。JATET フォーラムセミナー開催費は会場費、収録編集費、講師謝礼などで約 1,600,000 円となった。

JATET ジャーナルは、原稿執筆依頼書、承諾書発送代、編集代として約 550,000 円となっている。
ホームページ運用費、JATET News 発行費はほぼ例年通り、JATET 誌は 94 号、95 号の発行となり 5,252,490 円の出費、また InterBEE 展示事業費は約 190,000 円となった。その他の諸経費を含めて事業費の合計は 19,142,154 円、管理費はほぼ例年通りの内容で 6,718,000 円となり、経常費用の合計は 25,860,154 円となった。当期経常増減額は、169,467 円の減となり、正味財産期末残高は 7,052,459 円となっている。

財務諸表に対する注記として、特定資産については令和 6 年度用に特定費用準備金 2,000,000 円を取り崩した。前回第 74 回定例理事会にて、尾澤会計事務所との 2 月の決算見込み時に公益目的事業比率を 50%以上確保するため、年度内に 1,000,000～2,000,000 円ほど積み立てることで審議をいただいたが、3 月末の時点で 2,400,000 円の積み立てをしないと 50%以上の確保が出来ないことがわかった。そこで、改めて、特定費用準備金として 2,400,000 円積み立てることでご審議をお願いしたい。
前回、第 73 回定例理事会にて、令和 7 年度予算に関する尾澤会計事務所からの指摘事項への対策案を示した。対策例として、人件費を減らすために、役員報酬を見直す件について、後ほどご審議をいただく。

議長より監事監査を実施した尾澤監事、間瀬監事に意見を求めた。
・監事監査の際に、中川事務局長と打ち合わせをした上で今年度の予算を作成した状態で、決算では年々苦しくなっていることは仕方がない。ただ、抜本的に実行するということであった。

中川専務理事の説明の後、第 2 号議案令和 6 年度収支決算報告承認の件について、まず、特定費用準備金について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、第 2 号議案令和 6 年度収支決算報告承認の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案　令和 7 年度通常総会議事次第承認の件　資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、第 3 号議案　令和 7 年度通常総会議事次第承認の件について説明があった。

審議事項は下記の通りとする。
第 1 号議案　令和 6 年度事業報告承認の件
第 2 号議案　令和 6 年度収支決算報告承認の件

続いて報告事項は下記の 2 件。
第 1 号報告　令和 7 年度事業計画の報告の件
第 2 号報告　令和 7 年度収支予算の報告の件

中川専務理事の説明の後、第 3 号議案　令和 7 年度通常総会議事次第承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。
令和 7 年 5 月 30 日の令和 7 年度通常総会では、この議事次第通りに進行する。

第 4 号議案　令和 7 年度通常総会 懇親会の件　資料-4

中川専務理事より資料-4 に基づき、第 4 号議案　令和 7 年度通常総会 懇親会の件について説明があった。

2024 年 11 月 22 日開催の第 72 回定例理事会で通常総会後に懇親会を開催することはご承認いただいており、事務局で懇親会の会場を調べ 2 箇所候補を挙げた。
第 1 案は、レストラン 1899 お茶ノ水、第 2 案はお茶の水トライエッジカンファレンスで、2 月に開催した JATET フォーラムの会場「全電通労働会館」の近隣となる。

中川専務理事の説明の後、第 4 号議案　令和 7 年度通常総会 懇親会の件について審議に入り、レストラン 1899 お茶の水を懇親会会場とすることで、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案　新年度事業について（フォーラム・Inter BEE・音響部会セミナー）資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づき、第 5 号議案　新年度事業について（フォーラム・Inter BEE・音響部会セミナー）の説明があった。

令和 7 年度の事業としては、例年通り JATET フォーラムの開催と Inter BEE への出展を考えている。フォーラムは、JATET フォーラム 2025/26 として、年明けの 1 月中旬～2 月初旬頃の開催を目指したい。ついては、早期に実行委員会を立ち上げて、全体のテーマや部会セミナーのテーマについて議論を進めたい。会場候補としては、昨年度に利用した全電通労働会館で検討している。
過去 2 年に亘り、JATET の事業内容を広報することを目的に Inter BEE に出展してきた。今年の Inter BEE 2025 は、11 月 12 日（水）から 15 日（金）までの会期で、例年通り千葉の幕張メッセで開催される。本年も JATET の事業内容、活動内容を広報することを目的として出展したい。
また、本年 3 月 31 日に音響部会から「劇場等演出空間における舞台連絡設備指針」が発

行された。この指針は、1995 年発行の JATET-S-5030「劇場・ホール連絡設備指針」を現在の運用実態や技術、規格に合わせて全面的に改訂したものである。
音響部会では、指針の発行に併せて、舞台技術者や施設の運営管理者向けに解説セミナーを検討している。先週開催の部会で、フォーラムとは別に単独にセミナーを開催する方針が決定し、本年 7 月～9 月頃の間に行うことになり、日程、会場などの詳細は音響部会で審議の上決定とする。
その他、施設見学会については、教育研修部会の計画通りに、年 4 回の開催を予定している。

・InterBEE は展示のやり方に工夫が必要である。(伊東会長)

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案　新年度事業について（フォーラム・Inter BEE・音響部会セミナー）審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案　JATET 誌ダウンロードの件（会員・全公文加盟会館向け）　資料-6

中川専務理事より資料-6 に基づき、第 6 号議案 JATET 誌ダウンロードの件（会員・全公文加盟会館向け）について説明があった。

3 月に JATET 誌 95 号を発行したが、ホームページからの JATET 誌の PDF ダウンロードについて検討している。JATET 会員には冊子を送付しているが、法人会員の営業所などの方が閲覧できるようにしたい。公文協加盟会館で、94 号まで無償でお送りしていた施設については、メーリングリストは作成していないため、郵送にて、ID とパスワードの案内を送付しようと考えている。

JATET 誌 95 号ダウンロード（JATET 会員・公文協会員用ページ）で、ダウンロード規約に同意いただいた後、ID とパスワードの入力画面に移行し、必要な入力を済ませると、JATET 誌 95 号のダウンロードができるように設定することを考えている。

・ID は各会館設定し、パスワードは年毎に変えていったほうが良い（清水副会長）
⇒DL の履歴が分かるよう、施設毎に ID を設定する。(例：JATET2025/0001～9999)
パスワードは年度毎に更新する。(例：Jatet2025)

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案 JATET 誌ダウンロードの件（会員・全公文加盟会館向け）について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案　ホームページ改修検討委員会の件

中川専務理事より、第 7 号議案 ホームページ改修検討委員会の件について説明があった。

ホームページの改修について議論する小委員会のような会議体を作り、Web ページのあり方などを検討することが、先日の事業執行連絡委員会で提案された。予算の関係もあり、大幅な改修をすることは出来ないが、より良いホームページにすることを目的として、有志を募って議論を進めていきたい。
承認いただけるようなら、次回の事業執行連絡委員会にてメンバーについて検討する。

中川専務理事の説明の後、第 7 号議案 ホームページ改修検討委員会の件について審議に入

り、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案　JATET-L-25010 演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格 発行の件　資料-7

中川専務理事より資料-7 に基づき、第 8 号議案 JATET-L-25010 演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格 発行の件について説明があった。

照明部会から新しい規格、JATET-L-25010　演出空間用照明器具（軸対象配光）の光学特性の表示規格の発行依頼があった。2 月の JATET フォーラムで発表された内容に基づき制定された規格になる。演出空間用照明器具について、明るさに関する用語と表示の統一を図るための内容が記されている。部会内の審議にて、価格は一般 3,000 円、会員 2,100 円としている。

・国際化に合わせた英語の表記を入れたほうが良いのではないか。（西理事）
⇒照明部会に連絡して、英文表記について検討をお願いする。
・今後は規格の表紙タイトルについても、国際化に合わせて英文タイトルを併記していくことを検討する。今後の課題とする。

中川専務理事の説明の後、第 8 号議案 JATET-L-25010 演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格 発行の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案　正会員 C　下園 浩人氏　退会の件　資料-8

中川専務理事より資料-8 に基づき、第 9 号議案正会員 C 下園 浩人氏　退会の件についての説明があった。

3 月 3 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 9 号議案正会員 C 下園 浩人氏　退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案　正会員 C 草加 叔也氏 退会の件　資料-9

中川専務理事より資料-9 に基づき、第 10 号議案　正会員 C 草加 叔也氏 退会の件についての説明があった。

3 月 31 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 10 号議案　正会員 C 草加 叔也氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案　賛助会員 B ジンシル・ハン氏 退会の件　資料-10

中川専務理事より資料-10 に基づき、第 11 号議案　賛助会員 B ジンシル・ハン氏 退会の件についての説明があった。

3 月 31 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案　賛助会員 B ジンシル・ハン氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案　ミンソク・カン氏 賛助会員 B 入会の件　資料-11

中川専務理事より資料-11 に基づき、第 12 号議案　ミンソク・カン氏 賛助会員 B 入会の件についての説明があった。

3 月 28 日付で入会申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 12 号議案　ミンソク・カン氏 賛助会員 B 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案　（公財） 川口総合文化センター 賛助特別 入会の件　資料-12

中川専務理事より資料-12 に基づき、第 13 号議案（公財）川口総合文化センター 賛助特別 入会の件についての説明があった。

4 月 7 日付で入会申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 13 号議案（公財）川口総合文化センター 賛助特別 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　名嶋 雅行 氏　教育研修部会 退部の件　資料-13

中川専務理事より資料-13 に基づき、第 14 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　名嶋 雅行 氏　教育研修部会 退部の件についての説明があった。

3 月 4 日付で部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 14 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　名嶋 雅行 氏　教育研修部会 退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 15 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　海田 賢一 氏　教育研修部会 入部の件　資料-14

中川専務理事より資料-14 に基づき、第 15 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　海田 賢一 氏　教育研修部会 入部の件についての説明があった。

3 月 5 日付で部会入部届が届いている。
第 14 号議案の名嶋 雅行 氏の退部の後任として、海田 賢一 氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、第 15 号議案　正会員 A　パナソニック（株）エレクトリックワークス社　海田 賢一 氏　教育研修部会 入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 16 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）　中村 浩 氏　教育研修部会 退部の件

資料-15

中川専務理事より資料-15 に基づき、第 16 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）中村 浩氏　教育研修部会 退部の件についての説明があった。

3 月 18 日付で部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 16 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）中村 浩氏　教育研修部会 退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 17 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）　木村 敦則氏　教育研修部会 入部の件

資料-16

中川専務理事より資料-16 に基づき、第 17 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）木村 敦則氏　教育研修部会 入部の件についての説明があった。

4 月 8 日付で部会入部届が届いている。
第 16 号議案の中村 浩氏の退部の後任として、木村 敦則 氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、第 17 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）木村 敦則氏　教育研修部会 入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 18 号議案　賛助特別（公財）せたがや文化財団　熊谷 明人 氏 機構部会 退部の件

資料-17

中川専務理事より資料-17 に基づき、第 18 号議案　賛助特別（公財）せたがや文化財団　熊谷 明人 氏 機構部会 退部の件についての説明があった。

3 月 24 日付で部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 18 号議案　賛助特別（公財）せたがや文化財団　熊谷 明人 氏 機構部会 退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 19 号議案　第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件　資料-18

中川専務理事より資料-18 に基づき、第 19 号議案　第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件について説明があった。
公益財団法人ニッセイ文化振興財団より、第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」の公募案内が届いた。舞台芸術を裏から支え、優れた業績を挙げている舞台技術者を表彰する目的で、毎年実施されている。
推薦者を挙げるか、推薦者なしとするか、審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、第 19 号議案　第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件について審議に入り、今年度も「推薦者なし」と回答する事が全員一致で可決承認された。

第 20 号議案　令和 7 年度役員報酬の見直しの件　資料-19

中川専務理事より資料-19 に基づき、第 20 号議案　令和 7 年度役員報酬の見直しの件についての説明があった。

令和 6 年度事業決算の結果について先ほど審議いただいたが、事務局管理を司る専務理事の立場として大きな責任を感じている。新年度の事業については、理事の皆様のご協力をいただきながら、定期的な予実績管理を確実に実施して、公益目的事業比率 50%以上の確保ができるよう、運営していく。

前回、第 73 回定例理事会で、令和 7 年度予算に関する尾澤会計事務所からの指摘事項と対策例、その対策案を示した。対策例の中で「人件費を減らす」ために役員報酬を見直す件についてご審議をお願いしたい。

現在、専務理事の報酬として、理事会決議に基づき年間 120 万円の金額が定められ、月割にて 10 万円の報酬が支払われている。この報酬について、令和 7 年度以降は年間 60 万円とし、月割で 5 万円を支払うことを提案する。

中川専務理事の説明の後、第 20 号議案　令和 7 年度役員報酬の見直しの件について審議に入り、現状通りの金額で役員報酬を支払うことで全員一致で可決承認された。

【追加審議事項】

第 21 号議案　正会員 A　東芝ライテック（株）冨永 満氏　照明部会入部の件　追加資料

中川専務理事より追加資料に基づき、第 21 号議案　正会員 A　東芝ライテック（株）冨永 満氏　照明部会入部の件についての説明があった。

4 月 18 日付で部会入部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 21 号議案　正会員 A　東芝ライテック（株）冨永 満氏　照明部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 22 号議案　Inter BEE 2025 協力名義使用許可の件　追加資料

中川専務理事より追加資料に基づき、第 22 号議案 Inter BEE 2025 協力名義使用許可の件について説明があった。

Inter BEE 2025 は、11 月 19 日～21 日に千葉市幕張メッセにて開催される。協力団体については、展示ブースを無償で 1 コマ使用できるため、JATET の活動を広報することを目的とし JATET ブースを設けて展示を行いたいと考える。

中川専務理事の説明の後、第 22 号議案 Inter BEE 2025 協力名義使用許可の件について審議に入り、今年度も協力名義の使用を許可すると回答する事、及び会場内に展示ブースを設け広報活動を行う事が全員一致で可決承認された。

5．その他

1)第 75 回定例理事会開催日程について

第 75 回定例理事会は、令和 7 年 8 月 29 日（金）14：00 からの開催予定とする。

2)閉会

15 時 50 分　伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和７年 ４月 22 日
上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人　劇場演出空間技術協会
第 74 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事　伊東正示）	伊東正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（西　豊彦）	西　豊彦	

第 75 回　定例理事会

議　事　録（正）

令和 7 年 8 月 29 日

公益社団法人　劇場演出空間技術協会

公益社団法人　劇場演出空間技術協会（JATET）

第 75 回　定例理事会　議事録（正）

日　　時：令和 7 年 8 月 29 日（金）14：00～16：30
場　　所：JATET 会議室
　　東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル　TEL：03-5289-8858

出 席 理 事：伊東 正示 会長
　　西村 岩夫 副会長（事業担当）
　　清水 康裕 副会長（財務担当）
　　市瀬 守　 副会長（総務担当）
　　小川 幹雄 理事（国際渉外担当）
　　西 豊彦 理事（コンプライアンス担当・広報担当）
　　中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）
　　森 健輔 理事

Web 出席理事 ：西奈美 博 理事
　　長谷川 祥久 理事
　　横井 裕　理事

Web 出席監事 ：間瀬 勝一

監 事 欠 席：尾澤 輝行

有効理事総数　11 名、出席理事　11 名、欠席理事　0 名
　　出席率　100％ 事務局（1 名）、計 11 名

議事録署名人（書記）長谷川 祥久

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数　11 名中、11 名の出席、事務局（1 名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第
1.議長選出
2.議事録記録署名人選出

議事
3.報告事項
　1)業務報告　　伊東 正示 会長
　2)事業報告　　西村 岩夫 副会長
　3)財務報告　　清水 康裕 副会長

4)総務報告	市瀬 守	副会長
5)国際協力報告	小川 幹雄	執行理事
6)コンプライアンス報告	西 豊彦	執行理事
7)広報報告	西 豊彦	執行理事
8)規程改訂作業部会報告	中川 堅司	専務理事
9)事務局報告	中川 堅司	専務理事
10)その他		

4.審議事項

第1号議案	韓国建設生活環境技術認証研究所「KCL」との覚書（協定書）の件	資料-1
第2号議案	（社）韓国災害情報学会からの学術大会講師依頼の件	資料-2
第3号議案	ホームページ改修検討委員会の件	資料-3
第4号議案	日本舞台技術スタッフ団体連合会への加盟の件	資料-4
第5号議案	今川 敦子氏　正会員C入会の件	資料-5
第6号議案	正会員C　木下 素直氏　退会の件	資料-6
第7号議案	賛助会員B 大久保 亜美氏 退会の件	資料-7
第8号議案	賛助会員B 田中 伊都名氏 退会の件	資料-8
第9号議案	正会員A　丸茂電機（株）浅川 久志氏　照明部会 退部の件	資料-9
第10号議案	正会員A　丸茂電機（株）尾尻 喜一郎氏　照明部会 入部の件	資料-10
第11号議案	賛助会員B 大久保 亜美氏 映像部会 退部の件	資料-11
第12号議案	正会員A　ジャトー（株）宮崎 雄一氏　音響部会 退部の件	資料-12
第13号議案	正会員A　ジャトー（株）岩瀬 琢海氏　音響部会 入部の件	資料-13
第14号議案	国土交通省関連の技術指針検討委員会に関わる経費の件	資料-14
第15号議案	ProLight&ProVisual 2026後援名義使用の件	資料-15
第16号議案	「日生劇場 第32回舞台フォーラム2025」後援名義使用許可の件	資料-16
第17号議案	村越 幹弘 氏　賛助会員B入会の件	資料-17

5.その他

1）第76回定例理事会 開催日程（11月）について

2）閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が長谷川 祥久 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1)業務報告 伊東 正示 会長

下記の通り、第 73 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 7 年 5 月 23 日（金）15:00～　第 108 回事業執行連絡委員会
令和 7 年 6 月 24 日（火）15:30～　第 109 回事業執行連絡委員会
令和 7 年 7 月 23 日（水）14:00～　第 110 回事業執行連絡委員会
令和 7 年 8 月 18 日（月）15:00～　第 111 回事業執行連絡委員会を開催した。

2)事業報告 西村 岩夫 副会長 （各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。
詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

・福岡市民ホール施設見学会を 5 月 12 日に開催し無事に完了した。参加者は、119 名（1 名欠席）。定員 120 名で募集開始から 2 週間でキャンセル待ちが発生するほど盛況であった。資料代を会員・一般ともに 1,000 円増額したが全く問題はなかった。
・次回以降の施設見学会の候補先として、大阪府の茨木市複合施設 おにクルと、愛知県の IG アリーナの 2 か所を有力候補として検討していたが、IG アリーナは見学会開催が難しくなり、現在おにクルの見学会を 10 月以降開催できないか調整中である。

建築部会では、

・5 月 13 日に興行場技術指針改定に関する国交省との打ち合わせを行った。JATET の技術基準作成に関する委員会設置について報告があり、国土交通省もオブザーバーとして参加し、特に客席部分を中心に検討を今年度より進めて行く予定である。
スケジュールとしては、8 月までに設置要綱作成と委員委嘱、協議用資料の作成、9 月に各委員への事前説明と日程調整、10 月に第 1 回委員会開催、年度内に計 3 回程度の開催を予定している。のちほど具体的な企画書・予算書をご審議いただきたい。

機構部会では、

・フォーラムの発表内容については、ライトブリッジ、点吊装置、EN 規格の説明などを検討中である。
・「ライトブリッジの比較研究」はメーカーからの提出資料をもとに資料はまとまっている。今後は照明部会の意見も取り入れながら成果物としてまとめる予定である。
・「点吊装置型劇場についての調査研究」では、ヨーロッパの規格 EN17206 がより詳細な安全基準となっているため、この規格を購入し内容の精査を進める予定である。
また、ホイストメーカーのキトーを部会に招き、製品の説明と安全性の説明・協議を行う予定である。
・次回の機構部会は、8 月は休止とし 9 月 16 日に北海道・小林舞台に於いての開催を予定している。翌 9 月 17 日午後に、エスコンフィールド北海道の見学を予定している。

照明部会では、
・JATET マークの運用について、パナソニック、東芝ライテック、丸茂電機、松村電機製作所、ウシオライティングが、現在も JATET マークを使用している。ハンガーなどの機材の互換性を示すために、JATET マークを継続使用することとしている。
・今年度の JATET フォーラムでは、前回のフォーラムで要望のあった照明器具類のファンの騒音についてテーマとすることを決定し、EMC 研究会で推進することとしている。これにより、元々検討予定だった IP インカムのノイズ試験は、JATET フォーラム後に再度検討することになった。
・JATET-L-25010「演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格」を発行した。

音響部会では、
・7 月 4 日にマルチメディア IP 伝送の調査として Audinate の協力のもと Dante AV セミナーおよび実機を使用したデモを行った。
・7 月 7 日に音響電源研究会を行い電圧降下に伴うパワーアンプの電流値、漏れ電流の変化に関する分析結果の報告とその内容について協議した。
・8 月 22 日にエッサム神田にて JATET-S-25010「劇場等演出空間における舞台連絡設備指針」解説セミナーを開催すると共に舞台連絡設備で使用される実機の展示を行った。受講者は 19 名と予定を下回る人数ではあったが、首都圏を中心に中部、関西、九州から参加頂いた。

映像部会では、
・劇場メディアの拡張性については、marimoRecords 社にて 5 月 29 日に「The Day of Mirror」の紹介を行うイベントが開催された。marimoRecords 社は、プロフェッショナル向けのプロモーションビデオを製作する企業であり、最先端の映像技術を凝縮させた映像を手掛けている。映像とオーディオが同一のタイムラインで動くような作り込みを行っているため、映像部会と音響部会からこのイベントに参加し情報収集を行った。

広報部会では、
・JATET 誌 96 号の編集に関して、新たな編集者である宮本氏との契約交渉が行われた。
慎重な折衝の結果、ページ数を限定すること（表紙、裏表紙+本文 46 ページで 105 万円）を条件に、契約締結となった。

イ．JATET 誌 96 号について
・広告掲載は 17 社より申込をいただいている。
・JATET 誌 96 号より編集担当者が変わっている。
・特集テーマとして「JATET フォーラム 2024/25 総括」「ABTT の技術基準」を掲載予定で来月 9 月末の発行予定に向け編集作業を進めている。

ロ．JATET フォーラム 2025/26 について
令和 7 年 6 月 10 日（火）14:00～　　第 1 回 JATET フォーラム 2025/26 実行委員会
令和 7 年 8 月 5 日　（火）14:00～　　第 2 回 JATET フォーラム 2025/26 実行委員会を開催した。

現在、決定している内容は以下となる。
日　　時：令和 8 年 2 月 5 日（木）[午後：リハ・仕込み]
　　2 月 6 日（金）[本番]
場　　所：一般財団法人 全電通労働会館（昨年度と同じ場所）会場には、本契約済みであり会場使用料も支払い済みである。

入場券：〈1 日券〉会員：5,000 円、一般：7,000 円
〈当日券〉会員：6,000 円、一般：8,000 円
※会員価格は、共催、協力、後援団体の各会員に適用する。
開催方法：リアル開催のみで配信は行わないこととする。
共催・協力・後援依頼：従来通りの 13 団体に依頼する予定。
セミナー資料、チラシ作成：HP にのみ掲載する。セミナー資料の紙の配布は無し。当日 QR コードを印刷した紙を配布して個々に資料をダウンロードしてもらうようにする。
フォーラムのテーマは次回の実行委員会（10 月 3 日開催予定）で確定する予定である。

ハ．Inter BEE 2025 について
・Inter BEE 2025 の出展申し込みを行った。会期は 2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）となる。出展ブースはホール 3 の小間番号 3214 となった。プロオーディオ部門に隣接した位置となる。昨年と同程度の展示内容となる予定だが、11 月 18 日（火）に仕込み準備を行う。

ニ．JATET ジャーナルについて
・「小田原三の丸ホール」は 7 月に公開している。
・「やまぎん県民ホール」は未原稿があり提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う。

ホ.公文協加盟館ダウンロードについて
・6 月に 1,268 館の公文協加盟館へ JATET 誌 95 号ダウンロードご案内について書面を郵送した。年度ごとに ID とパスを変えるため、今年中にダウンロードの申込がないと次号以降ダウンロードが出来なくなるため、まだ申込んでいない会館へはメールでも連絡をしている。現在の申込は 351 件である。

3)財務報告　清水 康裕 副会長（閲覧資料-財務報告）
・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
・令和 7 年度会費納入状況は、別紙の資料のとおり正会員 A1 社、正会員 B1 社、正会員 C4 名、賛助会員 A1 社、賛助会員 B5 名が未納となっており、9 月に再々請求書を送付予定で進めている。
・予算の進捗状況について、7 月が終わった時点での報告をする。資料は 7 月 1 日～31 日の残高試算表である。収入は、予算上 2,334 万円で実績が 1,517 万円となり約 816 万の差がある。会員増強の予算（入会金・会費）が現時点で達成出来ておらず、未収分を全て回収しても、現段階で 200 万円ほど足りない状況である。支出については、今年度予算全体で 27,056,200 円（8,264,200+18,792,000）を計上しているが、7 月末時点で 8,477,444 円（1,757,928+6,719,516）で約 31.3%の実績となっており、今後も月次での会計チェックにより監視を進めていく。部会費予算の 260 万円については、各部会事業でしっかり予算を消化し成果をあげていただくようお願いしたい。

4)総務報告　市瀬 守 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）
・毎月、清水副会長と共に総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。併せて勤怠の確認を行なっている。
・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5)国際協力報告 小川 幹雄 執行理事

・10 月に開催される WSD（ワールドステージデザイン）で OISTAT 本部の会長や各委員会の委員長の選挙が行われることを報告した。また、建築委員会主催で開催国の UAE（アラブ首長国連邦）のシャールジャとドバイにおいて劇場見学ツアーが企画されている。さらに建築委員会では 6 月に発表があった第 12 回シアターアーキテクチャコンペティション（TAC）で選ばれた作品を WSD 会場で展示の予定である。技術委員会でもテクニカルインベンションプライズ（TIP2025）が WSD において発表される予定である。他にイギリスの OISTAT メンバーである ABTT（英国劇場技術者協会）により今年 6 月にロンドンで開催されたシアターショーでの ABTT アワードにおける照明や音響等の製品表彰の一例を紹介した。

6)コンプライアンス報告 西 豊彦 執行理事

・特に報告事項や問題はなし

7)広報報告 西 豊彦 執行理事

・広報部会は前回から 3 回ほど開催しているがコロナ以降見学会等の催しが再び軌道に乗っていることもあり、アンケートの集計結果からいろいろなことがわかってきた。その内容は随時各部会に共有しているので事業に今後反映されていくと思う。

・JATET 誌 96 号からプロの編集者を迎えて作業を行っているが、いままでになかった指摘を受けている。発行の媒体が紙ではなく WEB 中心になってきて発行部数も減っている中、誰に向けて何をしているのか考え直す機会と考えている。

・媒体については JATET ジャーナルは既に WEB で発行しているが、JATET 誌も WEB に移行したほうがいいのではないかと考える。読者は会員の方が主体なのか、会員外に対するアプローチが必要なのか等も、整理してそれぞれの目的を明確にしていく必要がある。

8)規程改訂作業部会報告 中川 堅司 専務理事

・報告事項なし

9)事務局報告

イ．内閣府情報 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

・内閣府 公益法人メールマガジン 臨時号（4/16、6/6）、217 号（4/23）、218 号（5/14）、219 号（5/28）、220 号（6/11）、221 号（6/25）、222 号（7/9）、223 号（7/23）を閲覧した。
・令和 6 年度事業報告書は 6 月 27 日に内閣府へ提出済みである。
・就活日程ルールに関するアンケート調査の協力依頼が届いた。

ロ．経済産業省情報＆総務省等 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省＆総務省等）

・価格転嫁取引適正化に関する今後の取組、戸籍等の記載事項に氏名の振り仮名を追加することに伴う影響への対応、科学技術研究調査の実施、納税の猶予制度、マイナンバーカード活用等に向けた積極的な周知の協力依頼についての周知依頼書面が届いた。

ハ．JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

・5 月 9 日に第 255 号配信。
令和 7 年度 通常総会について 2025 年 5 月 30 日（金）開催、令和 7 年度通常総会懇親会に

ついて（本日より申込受付開始）、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

・5 月 20 日に第 256 号配信。
令和 7 年度 通常総会について 2025 年 5 月 30 日（金）開催、令和 7 年度通常総会懇親会について（5 月 22 日申込締切迫る）、「福岡市民ホール」施設見学会開催報告、「舞台連絡設備指針解説セミナー」開催決定のご案内について配信した。

・7 月 4 日に第 257 号配信。
令和 7 年度 JATET 通常総会・懇親会 2025 年 5 月 30 日（金）開催報告、JATET ジャーナル vol.23「小田原三の丸ホール」公開、JATET 誌 96 号 広告掲載申込 募集中（募集締切：7 月 18 日（金））、音響部会主催：舞台連絡設備指針解説セミナー開催 2025 年 8 月 22 日（金）、JATET-L-25010：演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格について、JATET 事務局 夏季休業のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

ニ．会員情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

・今川 敦子氏　正会員 C 入会（審議事項）
・正会員 C　木下 素直氏 死亡届、退会（審議事項）
・賛助会員 B　大久保 亜美氏 退会（審議事項）
・賛助会員 B　田中 伊都名氏 退会（審議事項）
・正会員 A　丸茂電機（株）浅川 久志氏　照明部会退部（審議事項）
・正会員 A　丸茂電機（株）尾尻 喜一郎氏　照明部会入部（審議事項）
・賛助会員 B　大久保 亜美氏　映像部会退部（審議事項）

・正会員 A　三菱重工機械システム（株）より登録内容変更届が届いた。
・正会員 A　（株）サンケン・エンジニアリングより登録内容変更届、役員交代のお知らせが届いた。
・正会員 A　ヤマハサウンドシステム（株）より役員交代のお知らせが届いた。
・正会員 A　（株）NHK アートより役員交代のお知らせが届いた。
・正会員 A　東芝ライテック（株）より役員交代のお知らせが届いた。
・正会員 A　三精テクノロジーズ（株）より役員交代のお知らせが届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ．諸団体情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

・世界劇場会議名古屋より「世界劇場会議国際フォーラム 2025in ちりゅう」の後援名義使用事業実施報告書が届いた。
・（公社）全国公立文化施設協会より令和 7 年度公益社団法人全国公立文化施設協会研究大会の資料が届いた。
・（一財）商工会館より経済産業ハンドブックの名簿訂正、購入等に係る電子化への対応についてお願いが届いた。
・戸塚区民文化センターさくらプラザより、シンポジウム開催のご案内が届いた。
・ヒビノライティング（株）、日本建築学会、音響特機（株）、日本舞台音響会協会、日本舞台美術家協会より役員交代のお知らせが届いた。

・芸団協メールニュース： 534 号（4/15）、535 号（5/1）、536 号（5/15）、537 号（6/2）、臨時号（6/11）、538 号（6/16）、539 号（7/1）、540 号（7/15）、臨時号（7/28）、541 号（8/1）が届いた。
・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：164 号（4/15）、165 号（5/15）、臨時号（6/2）、166 号（6/17）、167 号（7/15）が届いた。

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ．書籍販売状況　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）
・2025 年 8 月 25 日時点で 213,500 円の売上があった。

ト．請求書情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

・JATET 誌印刷費、編集代、総会議案書作成、JATET ニュース発行、HP 更新代、ジャーナル発行代、国交省資料代、音響部会セミナー会場費、施設見学会福岡の施設利用備品代、フォーラム関連の請求書が届いた。

その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ．HP について　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

・JATET ホームページのアクセス解析は適宜更新している。

リ.事務局関連　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

・早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻の宮地氏が 2020 年 11 月に JATET 事務所へ「劇場・ホールの改修工事に関する調査研究」に関する資料を調べるためお越しになり、このたび、昨年 11 月に続き日本建築学会の投稿論文に採用されたというご連絡をいただいた。今回は、劇場・音楽堂等の改修の集計結果の中から、外壁歩数、屋上防水工事、天井脱落対策工事、耐震改修の 4 項目に着目し分析をされているとのことで、ぜひ皆様にもご一読いただきたい。
・その他、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4.審議事項

第 1 号議案　韓国建設生活環境技術認証研究所「KCL」との覚書（協定書）の件　資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 1 号議案　韓国建設生活環境試験研究所「KCL」との覚書（協定書）の件について、説明があった。

6 月 23 日に韓国災害情報学会のご担当者（キム・テファン氏）が当協会を訪問された。韓国では舞台関連事故が相次いでおり、国から仮設舞台の安全確保に関する調査研究を委託されているとの説明があった。
2025 年度から 4 年間にわたり、安全基準の規定および評価を実施する予定であり、KCL（韓国建設生活環境技術認証研究所）と韓国災害情報学会が共同で調査報告書を作成し、規格や基準の策定を行うとのことである。
この取り組みに関連し、当協会との間で公演場の安全確保や危険度評価の標準化技術開発に向けた業務協約締結の打診があった。本件については、事業執行連絡委員会にて既に 2 度協議を行っており本日の理事会では、当協会にとってのメリット・デメリット、ならびに

KCL（韓国建設生活環境技術認証研究所）との覚書契約内容について審議をお願いしたい。

資料-1 に KCL からの覚書（MOU）案を示す。書面は 8 月 1 日にメール添付で届いた。会長、副会長にはメールと添付資料を転送して確認いただいているが、8 月 19 日に MOU の確認進捗状況について韓国災害情報学会のキム・テファン氏から電話があり、韓国政府から調査を委託されているのは韓国災害情報学会と KCL であり、JATET は韓国の国家標準を策定する立場にはないことから、内容について見直しが必要と考えていることを説明している。

また、MOU の見直し案を検討している。第 1 章の「国家標準を共同で開発する」の部分は、「国家標準を、主幹機関として KCL が開発し、JATET が協力する」とした。第 3 章第 1 項は、西村副会長から「公演施設や舞台設備の安全に関する政府出資研究開発プロジェクトへの協力」の政府とは韓国政府だと思うため少し違和感があると指摘をいただいている。
第 1 章で、JATET はあくまで KCL に協力するという立場とすれば、このままで良いようにも思うが、皆様からより良い表現がありましたらご教示いただきたい。お互いに MOU の内容に同意できれば、10 月 20 日～23 日の間に KCL のメンバーが JATET を訪問して、覚書に調印を行いたいという意向である。

・基本的な先方の目的は韓国政府が出資したプロジェクトに対して相互に協力しましょうといっているが、我々が現在進行している建築の設計指針は政府が出資しているわけではない。置かれている立場が違うのではないか。JATET について日本政府が出資するプロジェクトを手伝っていると思い込んでいるかもしれないがそうではない。お互い立場が違うので協力することにしかならないのではないか。政府や国の団体と指針を作るというのは、今回やろうしていることが初めてでこれから作るものであって情報提供などどうなるか決まっていないため、協定を結んで情報をやり取りできることを決めようがないのではないか。第 3 章で示していることは、政府出資のプロジェクトに対してお互いは協力するとある。KCL は政府から出資されているかもしれないが JATET はそうではない。また、どこの政府か記載がない。お互いが政府に協力しているという前提としている可能性がある。（西理事）
・JATET の国際交流が広がっていくことは良いことだと思う。
ただ今回の MOU 締結の話では、提案を申し出た KCL というのはどういう機関なのかがよくわからない。公的な政府の機関なのか或いはプライベートな財団や法人なのか？相手のことがよくわからないままに締結することは出来ないのではないか。
文化・スポーツ観光省から委託をうけて調査をしていくと書いてあるので文化・スポーツ観光省の直接の機関ではないのではないか。また、日本で既に他に締結されている PVTEC という組織があるようだが、詳細を精査する必要がある。
もう一つは、既に JATET が MOU を締結している KTL（韓国産業技術試験研究所）との関係も確認したほうが良い。（小川理事）
・ジェトロ（日本貿易振興機構）の HP には、韓国の KC マークに関して取得する上で認証機関として電気製品の主な認証機関は KTL、生活用品等の主な認証機関は KCL と記載されている。分野によって違うと思うが KCL は認証機関であるのではないか。（森理事）

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案　韓国建設生活環境技術認証研究所「KCL」との MOU（覚書協定）の件について今回審議に諮ることはせず、確認事項がいくつか出された内容を次回の理事会までに確認し改めて理事会に諮ることが、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案　（社）韓国災害情報学会からの学術大会講師依頼の件　　資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づき、第 2 号議案　（社）韓国災害情報学会からの学術大会講師依頼の件について説明があった。

第 1 号議案に関する案件である。第 1 号議案の覚書の依頼と併せて、韓国災害情報学会のキム・テファン氏より、本年 11 月 7 日に韓国で開催予定の定期学術大会において、当協会から仮設舞台に関する知識や研究を行っている人材を講師として派遣してほしいとの要請があった。
事業執行連絡委員会にて人選など協議を検討したが、先方が希望する具体的な内容を確認することになった。

8 月 19 日に韓国災害情報学会からの電話連絡の際、あらためて先方の意図するところを伺った。講演内容は「日本の公演場（舞台）施設の安全基準と実態について」というテーマで考えているとのことである。当初は仮設舞台、仮設劇場に関する安全基準ということであったが、仮設だけでなく「舞台施設の安全確保のために日本が取り組んでいる内容」を発表して欲しいという要望である。一昨日に、韓国災害情報学会のキム・テファン氏から、セミナープログラム案をいただいた。当初は仮設舞台ということであったので、シミズオクト様辺りに打診する案も出たが、舞台施設全般の安全確保という内容であれば、別の適任者を派遣することも可能と思う。JATET から派遣する人選について審議をいただきたい。

中川専務理事の説明の後、第 2 号議案（社）韓国災害情報学会からの学術大会講師依頼の件について審議に入り、伊東会長を講師として派遣することに全員一致で可決承認された。

第 3 号議案　ホームページ改修検討委員会の件　　資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、第 3 号議案 ホームページ改修検討委員会の件について説明があった。

4 月 22 日開催の第 74 回定例理事会にて、ホームページ改修の検討委員会を立ち上げ、具体的な作業を進めていくことが可決承認され事業執行連絡委員会でメンバーについて検討することになった。委員会メンバーとしては、広報部会担当の西理事、総務担当の市瀬副会長、事務局中川と WEB ページの管理を担当しているテトラロジックシステムの竹本氏の 4 名で構成し、可能なら若手有志を加えていく方向となった。
2025 年 2 月に広報部会から提示された WEBSITE 改修計画についての企画提案を元に内容を整理して、7 月 31 日に第 1 回の検討委員会を開催した。

WEBSITE 構築にあたり、団体としての理念・目的・対象・課題を明確にすることが大切であり、誰に向けた情報発信なのかを整理することが重要であるとされている。
現行の WEBSITE トップ表現は、芸術と技術の繋ぎ手として～JATET は演出空間の更なる発展を支えますとなっているが理念・目的の表現として相応しいか、このままで良いか、皆様からの意見も取りまとめて方針を定めたいと考えている。

また、清水副会長のお知り合いの WEB 制作会社の方に当協会の HP を見ていただき、スマホからの WEB 検索に対応する必要があるなど意見をいただいている。協会の理念などの表現の検討と併せて、相談に乗っていただくことも可能と聞いているので、9 月に入ったら一度ご相談に伺うことにしている。

・WEB サイトの構築にあたって理念・目的・対象・課題のどのような表現が適切なのかご意見いただきたい。(中川専務理事)
・協議になると思うので検討委員会で素案をだしてもらい理事会で審議に諮るようお願いしたい。(伊東会長)

中川専務理事の説明の後、第 3 号議案 ホームページ改修検討委員会の件について審議に入り、今回審議に諮るのではなく委員会で内容を固めていただき次回の理事会で審議に諮るということに全員一致で可決承認された。

第 4 号議案　日本舞台技術スタッフ団体連合会への加盟の件　資料-4

中川専務理事より資料-4 に基づき、第 4 号議案　日本舞台技術スタッフ団体連合会への加盟の件について説明があった。

事業執行連絡委員会の中で伊東会長から案内をいただき、一般社団法人日本舞台技術スタッフ連合会について調べた。2021 年 9 月設立の団体で、文化芸術・ライブエンターテインメント産業における舞台制作技術サービスに関する諸々の事業を展開している。正会員の中にはコンサート舞台監督連絡会、美術大道具連絡会をはじめ、照明・音響や特殊効果演出、電飾、電源、レーザーなどの団体が加盟している。
JATET としても、舞台運営に携わる団体との接点を拡げ、互いに協力体制を築くことは今後の公益事業にも資するものであり、賛助会員として加入することは如何かと考えている。年間会費は賛助会員 1 口で 60,000 円となる。

中川専務理事の説明の後、第 4 号議案　日本舞台技術スタッフ団体連合会への加盟の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案　今川 敦子氏　正会員 C 入会の件　資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づき、第 5 号議案 今川敦子氏 正会員 C 入会の件についての説明があった。

6 月 20 日付で入会申込届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案 今川敦子氏 正会員 C 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案　正会員 C　木下 素直氏　退会の件　資料-6

中川専務理事より資料-6 に基づき、第 6 号議案 正会員 C 木下素直氏 退会の件について説明があった。

2025 年 2 月 8 日にご逝去されたと会社の方からご連絡があり死亡届をご提出いただいた。また、5 月 7 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案 正会員 C 木下素直氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案　賛助会員 B 大久保 亜美氏 退会の件　資料-7

中川専務理事より資料-7 に基づき、第 7 号議案 賛助会員 B 大久保 亜美氏 退会の件について説明があった。

5 月 1 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 7 号議案 賛助会員 B 大久保 亜美氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 賛助会員 B 田中 伊都名氏 退会の件　資料-8

中川専務理事より資料-8 に基づき、第 8 号議案 賛助会員 B 田中 伊都名氏 退会の件について説明があった。

3 月 31 日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 8 号議案 賛助会員 B 田中 伊都名氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）浅川 久志氏　照明部会 退部の件　資料-9

中川専務理事より資料-9 に基づき、第 9 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）浅川 久志氏 照明部会 退部の件について説明があった。

6 月 25 日付で退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 9 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）浅川 久志氏 照明部会 退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）尾尻 喜一郎氏　照明部会 入部の件　資料-10

中川専務理事より資料-10 に基づき、第 10 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）尾尻 喜一郎氏　照明部会 入部の件についての説明があった。

6 月 19 日付で入部申込届が届いている。
第 9 号議案 浅川 久志氏の退部の後任として入部する。

中川専務理事の説明の後、第 10 号議案　正会員 A　丸茂電機（株）尾尻 喜一郎氏　照明部会 入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案　賛助会員 B 大久保 亜美氏 映像部会 退部の件　資料-11

中川専務理事より資料-11 に基づき、第 11 号議案　賛助会員 B 大久保 亜美氏 映像部会 退部の件について説明があった。

5 月 1 日付で退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案　賛助会員 B 大久保 亜美氏 映像部会 退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案　正会員 A　ジャトー（株）宮崎　雄一氏音響部会退部の件　資料-12

中川専務理事より資料-12 に基づき、第 12 号議案　正会員 A　ジャトー（株）宮崎 雄一氏音響部会退部の件について説明があった。

7 月 31 日付で退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 12 号議案　正会員 A　ジャトー（株）宮崎 雄一氏音響部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第　13 号議案　正会員 A　ジャトー（株）岩瀬 琢海氏　音響部会 入部の件　資料-13

中川専務理事より資料-13 に基づき、第 13 号議案 正会員 A　ジャトー（株）岩瀬 琢海氏　音響部会 入部の件についての説明があった。

7 月 31 日付で入部申込届が届いている。
第 12 号議案 宮崎 雄一氏の退部の後任として入部する。

中川専務理事の説明の後第 13 号議案 正会員 A　ジャトー（株）岩瀬 琢海氏　音響部会 入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第　14 号議案　国土交通省関連の技術指針検討委員会に関わる経費の件　資料-14

中川専務理事より資料-14 に基づき、第 14 号議案　国交省がらみの技術指針検討委員会に関わる経費の件についての説明があった。

劇場演出空間等に係る技術指針検討委員会設置要項（案）と名称の案を示す。
7 月 23 日開催の第 110 回事業執行連絡委員会で、建築部会より「劇場、音楽堂等の施設建設に係る指針改訂検討会」企画書の説明があった。
客席の配置に関する法令、条例が時代に合わなくなっており、ワールドスタンダードと乖離していることから、国交省との打合せで JATET が主催者となり、委員会を設置して委員を委嘱することになった。
想定される委員会の構成員として、委員長に東京理科大学の荻原教授、早稲田大学の佐野教授、日本大学の森山教授、国土技術政策総合研究所長の布田氏と出口氏、建築研究所の峯岸主任研究官、ユニバーサルデザイン研究家である鹿島建設の原氏、建築部会から勝又副部会長が予定されている。委員会の業務として、設置要項作成、委員委嘱、委員への事前説明、委員会資料の作成、報告書作成などが想定され、大学教授の委員へは報酬の支払いが発生予定である。

スケジュールとしては、8 月までに設置要項作成と協議用資料の作成、9 月に各委員への事前説明と日程調整を行い、10 月に第 1 回委員会を開催して年度内に計 3 回程度の委員会開催を予定している。

必要予算として、令和 7 年度分で 300 万円ほどを想定しており、委員報酬と交通費で 42 万円、委員会及び協議用資料作成費で 250 万円を計上している。

今年度は建築部会予算の 52 万円を充当するが、足りない分をどのように工面するのかが課題である。新規会員の加入、従来の特定費用準備資金である公益充実資金の活用、臨時会費、寄附金募集などの検討が必要となってくるが、今年度の経費をできるだけ抑えて委員会運営を進める必要がある。

・いくら支出するからそれを審議くださいということなのか。(西村副会長)
・予算は想定で組んでいるだけである。(西理事)
・予算計上に対して審議くださいということでしたら資料で収支の確認は出来るがこの数字で良いのか。(西村副会長)
・正直数字はわからないが 200 万円で一旦承認していただきその中でやり繰りをすることもありだと思う。それ以上になった場合は考えなければいけない。(西理事)
・特定費用準備金の一部をまわすか新たな財源として新規入会開拓かクラウドファンディング（寄付型）を検討する必要もあるかもしれない。(清水副会長)
・寄付ではなくフォーラムに対して動員を募るほうがよいのではないか。(西村副会長)

中川専務理事の説明の後、第 14 号議案　国交省がらみの技術指針検討委員会に関わる経費の件について審議に入り、建築部会から出された予算組みの中で 200 万円分を技術指針委員会にあてることについて全員一致で可決承認された。

第　15 号議案　ProLight&ProVisual 2026 後援名義使用の件　資料-15

中川専務理事より資料-15 に基づき、第 15 号議案　ProLight&ProVisual 2026 後援名義使用の件についての説明があった。

2026 年 2 月 18 日(水)～20 日(金)の 3 日間、東京ビッグサイトにおいて開催され、舞台やライブ・イベント演出に関わる業界に、新たな技術発表・情報発信の場を提供し、エンターテイメント業界との商取引の場を創出することにより、同業界の振興に寄与することを目的に開催される。2 年に一度の展示会となり JATET も 2 年前に参加している。

中川専務理事の説明の後、第 15 号議案　ProLight&ProVisual 2026 後援名義使用の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第　16 号議案「日生劇場第 32 回舞台フォーラム 2025」後援名義使用許可の件　資料-16

中川専務理事より資料-16 に基づき、第 16 号議案「日生劇場第 32 回舞台フォーラム 2025」後援名義使用許可の件についての説明があった。

2025 年 11 月 12 日に日生劇場でオペラ「サンドリヨン」を題材としたフォーラムが開催される。また、11 月 14 日からは無料動画配信も予定されている。

中川専務理事の説明の後、第 16 号議案　「日生劇場第 32 回舞台フォーラム 2025」後援名義使用許可の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第　17 号議案　村越 幹弘 氏　賛助会員 B 入会の件　資料-17

中川専務理事より資料-17 に基づき、第 17 号議案　村越 幹弘 氏　賛助会員 B 入会の件についての説明があった。

8 月 27 日付で入会申込届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 17 号議案　村越 幹弘 氏　賛助会員 B 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5．その他

1)第 76 回定例理事会開催日程について

第 76 回定例理事会は、令和 7 年 11 月 14 日（金）14：00 からの開催予定とする。

2)閉会

16 時 30 分　伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 7 年 8 月 29 日
上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人　劇場演出空間技術協会
第 75 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事　伊東正示）	伊東正示	印
監事（尾澤輝行）	欠席	印
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	印
議事録作成署名人（長谷川祥久）	長谷川祥久	

第 76 回　定例理事会

議　事　録（正）

令和 7 年 11 月 14 日

公益社団法人　劇場演出空間技術協会

公益社団法人　劇場演出空間技術協会（JATET）

第 76 回　定例理事会　議事録（正）

日　　時：令和 7 年 11 月 14 日（金）14：00～16：30
場　　所：JATET 会議室
　　東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル　TEL：03-5289-8858

出 席 理 事：伊東 正示 会長
　　西村 岩夫 副会長（事業担当）
　　小川 幹雄 理事（国際渉外担当）
　　西 豊彦 理事（コンプライアンス担当・広報担当）
　　中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）
　　横井 裕　理事

Web 出席理事：清水 康裕 副会長（財務担当）
　　西奈美 博 理事

理 事 欠 席：市瀬 守　副会長（総務担当）
　　長谷川 祥久 理事
　　森 健輔 理事

Web 出席監事 ：間瀬 勝一、尾澤 輝行

有効理事総数　11 名、出席理事　8 名、欠席理事　3 名
　　出席率　73% 事務局（1 名）、計 8 名

議事録署名人（書記）西奈美 博

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数　11 名中、8 名の出席、事務局（1 名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第
1.議長選出
2.議事録記録署名人選出

議事
3.報告事項
　1)業務報告　　伊東 正示 会長
　2)事業報告　　西村 岩夫 副会長
　3)財務報告　　清水 康裕 副会長

4)総務報告	市瀬 守	副会長
5)国際協力報告	小川 幹雄	執行理事
6)コンプライアンス報告	西 豊彦	執行理事
7)広報報告	西 豊彦	執行理事
8)規程改訂作業部会報告	中川 堅司	専務理事
9)事務局報告	中川 堅司	専務理事
10)その他		

4.審議事項

第1号議案	令和8年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件	資料なし
第2号議案	韓国建設生活環境技術認証試験院「KCL」との覚書（協定書）の件	資料-1
第3号議案	選挙管理委員会の委員選任の件	資料-2
第4号議案	JATET誌発行の件	資料なし
第5号議案	yeah（株）賛助会員A入会の件	資料-3
第6号議案	賛助会員A　Mayr Japan合同会社 上村 摂 氏　機構部会 入部の件	資料-4
第7号議案	（株）スペーステック　賛助会員A入会の件	資料-5
第8号議案	世界劇場会議国際フォーラム2026 inたけとよ後援名義使用許可の件	資料-6

5.その他

1）第77回定例理事会 開催日程（2月）について

2）閉会

1.議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2.議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が西奈美 博 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3.報告事項

1)業務報告 伊東 正示 会長

下記の通り、第 75 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 7 年 9 月 17 日（水）14:00～ 第 112 回事業執行連絡委員会

令和 7 年 10 月 27 日（月）14:00～ 第 113 回事業執行連絡委員会を開催した。

2)事業報告 西村 岩夫 副会長 （各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

・12 月 15 日（月）に茨木市文化子育て複合施設「おにクル」にて施設見学会を実施することとなり、現在申込受付中である。先週より申込を開始している。ぜひお声掛けいただきご参加いただきたい。

建築部会では、

・劇場ガイドラインの草案を西理事が作成し、それをもとに 9 月 16 日に外部委員候補である建築研究所および国土技術政策総合研究所の方々と初めて打ち合わせを行った。内容の説明を中心にする予定であったが、「JATET は何をやろうとしているのか」「国交省はこのガイドラインをどのように扱おうとしているのか」といった根本的な質問が中心となり、内容について協議できなかった。

・国交省の西村氏が 9 月末で異動となり、今後は後任の畑（はた）氏と進めていくことになった。引継ぎはされていないようなので 10 月 29 日に国交省へ出向き、今一度、今後の方針を含め進め方について確認する。

機構部会では、

・フォーラムに向けて点吊装置型劇場についての調査研究を主に進めていく予定である。

照明部会では、

・照明部会は、9 月 30 日に開催し JATET L-7190 の改定に向けて仮設電源盤と移動型調光器、移動型リモート操作対応直ボックスの見直し検討を行った。

・EMC 研究会は 10 月 2 日に開催し JATET フォーラムの騒音に関する理論的な部分を分担して資料を用意し、その内容の確認を行った。

音響部会では、

・JATET フォーラムのセミナーについて、舞台連絡設備指針改定セミナーの要点を説明する予定である。

・舞台連絡設備指針改定セミナーを大阪で実施してはどうかと話が出ている。来年度の計画として進めていく。

・電源研究会で追加の実験を行う必要があるため 12 月初旬に実施予定である。

・次年度、S－2050「移動および持込電源機器における音響電源設備の安全基準」の改定を行う予定である。

映像部会では、
・8 月 26 日に NHK で行った EMC 検証について詳細な報告があった。検証方法として、ビデオコントロールルームから光ファイバーで 5 階まで立ち上げ、ネットワークスイッチから Cat6A ケーブルを 70 メートル敷設し、リーデルのインカムを接続してテストを行った。また、ネットワークスイッチを追加した場合や UTP ケーブルを使用した場合の検証も行った。結果として、Cat6A のシールド付きケーブルを使用した場合は問題がなかったが、UTP ケーブルを使用した場合は障害が発生し機器が破損した。これにより、IP ネットワークを使用する際の EMC に基づいた設備設計の重要性が確認された。

広報部会では、
・JATET 誌 96 号の発行について、当初 9 月 17 日が入稿予定であったが延期となり 11 月初旬に発送を完了することが出来た。
・今回の JATET 誌から編集が変わり、プロの編集者との関わりの中で 10 月 20 日の部会で JATET 誌の存在意義、誰に対しての機関誌になるのか改めて考えるきっかけとなった。JATET 誌の休刊、廃刊も検討している。発行を続けるのであれば、広報部会の中だけでは無理があり、編集委員会を立ち上げて取り組んでいくべきと考える。
のちほど JATET 誌発行についてご審議いただきたい。

イ．JATET 誌 96 号について
・11 月初旬に関係者への配布が完了している。
・会員限定に向け、ダウンロードでも閲覧できるようフォームを作成し、11 月 10 日からダウンロードによる閲覧が可能となっている。

ロ．JATET フォーラム 2025/26 について
令和 7 年 10 月 3 日（金）14:00～　第 3 回 JATET フォーラム 2025/26 実行委員会開催。
令和 7 年 11 月 17 日（月）14:00～　第 4 回 JATET フォーラム 2025/26 実行委員会を開催予定である。

日時：2026 年 2 月 6 日（金）10:00～18:00（予定）

【テーマ】
『劇場ホールの演出と安全運用』（予定）および JATET 技術系部会による調査研究発表

【セミナープログラム（予定)】
・基調講演：『劇場・ホールの演出と安全運用』「劇場演出と電磁環境両立性（EMC)」

・建築部会：「客席計画のガイドラインについて」
・機構部会：「点吊り装置の劇場についての調査研究」
・照明部会：EMC 研究会「FAN 騒音についての報告」
　　：表示研究会「演出用ハロゲンスポットライトの代替 LED 器具の明るさ基準について」
・映像部会：「IP リモートプロダクション、EMC 関連」（予定）
・音響部会：「劇場等演出空間における舞台連絡設備指針について」

【入場券】
前売券：会員 5,000 円／一般 7,000 円／学生 1,000 円
当日券：会員 6,000 円／一般 8,000 円／学生 1,000 円

フォーラムのテーマは、来週 17 日に開催する実行委員会で確定する。
確定後は、チラシを作成し広報活動を実施、共催、協力、後援団体にも依頼書を発送予定。

ハ．Inter BEE 2025 について
・2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）に開催となり、18 日は仕込み作業となる。
出展ブースはホール 3 の小間番号 3214、プロオーディオ部門に隣接した位置になる。
お時間のある方はぜひ出展ブースにお立ちよりいただきたい。
また、入会のお誘いもいただきたい。

ニ．JATET ジャーナルについて
・「やまぎん県民ホール」は未定稿があり、提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う。
・「あきた」「平塚」「世田谷」は各執筆者へ原稿執筆依頼書、承諾書を発送済み。発行は来年 6 月頃を予定している。

ホ.公文協加盟館ダウンロードについて
・6 月に 1,268 館の公文協加盟館へ JATET 誌 95 号ダウンロードご案内について書面をお送りし現在の申込は 385 件である。また、9 月 26 日に会員へ JATET 誌 95 号無料ダウンロードのご案内をし、現在の申込は 33 件である。

3)財務報告　清水 康裕 副会長（閲覧資料-財務報告）
・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
・現時点で令和 7 年度会費納入状況は、添付の資料のとおり正会員 A1 社、正会員 C1 名、賛助会員 B1 名が未納となっている。9 月に再々請求書を送付し支払い期限を 11 月末としている。
・事業執行連絡委員会で会費値上げについて議論した。今年度、会員新規勧誘には至っておらず、また昨今の情勢を顧みて会費値上げを検討したい。今回の理事会ではこの報告とさせていただき、次回の理事会で審議いただけるよう取り纏めていきたい。

4)総務報告　市瀬 守 副会長欠席 代理 中川専務理事（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）
・毎月、清水副会長と共に総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。併せて勤怠の確認を行なっている。
・東京都は 10 月 3 日より最低賃金時間額を 1,163 円から 1,226 円に引き上げている。これに伴い、アルバイトの時給も引き上げて支給している。

5)国際協力報告　小川 幹雄 執行理事
・今年の 6 月に JATET 事務局に韓国の KOSDI（韓国災害情報学会）の名誉会長であるキム・テファン氏が来訪され KCL（韓国建設生活環境技術認証研究所）と JATET との間で劇場安全基準作成のための MOU 覚書を結びたいとの申し出があった。その後メールでのやり取りと JATET が既に MOU を締結している KTL（韓国産業技術試験院）との問い合わせを含めて検討を重ねた。10 月 20 日にキム・テファン氏が KCL のメンバー2 人を連れて JATET 事務局を訪問され、MOU 締結について会談を行った。JATET では、10 月末までに会長、副会長、専務理事、国際渉外担当理事で MOU の日本側での原案をまとめた。11 月 7 日に伊東会長がソウルで開かれた韓国災

害情報学会の定期学術大会特別セミナーにおいて劇場安全に関する講演を行い、KCL のメンバーと交歓交流を行った。
本日の理事会において MOU 原案が承認されれば KCL は日本側の案を受け入れるとのことである。詳細は後程の審議事項にて審議されることになる。決議されれば、再検討の要請がない限り 11 月 28 日に KCL から再来日があり JATET において調印が行われる予定である。
一方で KTL（韓国産業技術試験院）から 11 月 11 日に連絡があり JATET との窓口である TSC（劇場安全センター）のメンバーが 12 月 10 日～12 日まで来日するにあたり JATET への表敬訪問と今後の取組について会談を持ちたいとのお伺いがあった。先に 11 月 10 日には TSC の関係者であるジョンシック・ユウ氏が JATET 事務局を訪問され、専務理事と国際渉外担当理事で対応し面談を持った。今度の 12 月 10 日～12 日の KTL のメンバーは数名で来られるとのことである。今後、KCL と KTL の両組織と関係を保ちながら JATET として劇場安全に対する取り組みを進めていかなければならない。
また、前理事会で報告した OISTAT のイベント WSD（ワールドステージデザイン）が 10 月 18 日～25 日までUAE（アラブ首長国連邦）のシャルジャで開催された。その中で国際会議として会長やいくつかの委員会の委員長の改選があったが詳細は改めて報告する。

6)コンプライアンス報告 西 豊彦 執行理事
・特に報告事項や問題はなし

7)広報報告 西 豊彦 執行理事
・特に報告事項や問題はなし

8)規程改訂作業部会報告 中川 堅司 専務理事
・報告事項なし

9)事務局報告

イ．内閣府情報 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）
・内閣府 公益法人メールマガジン 、224 号（8/13）、225 号（8/27）、226 号（9/10）、227 号（9/24）、228 号（10/8）、229 号（10/22）を閲覧した。

ロ．経済産業省情報＆総務省等 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省＆総務省等）
・2025 年 9 月「価格交渉促進月間」の実施について

ハ．JATET ニュース発行について 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）
・11 月 4 日に第 258 号を発行した。
「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」 施設見学会 11 月 5 日（水）より申込受付開始（2025 年 12 月 15 日（月）開催）、JATET 誌第 96 号発行、JATET フォーラム 2025/26（2026 年 2 月 6 日（金）開催）、Inter BEE 2025 JATET 出展ブースのお知らせ、JATET-L-25010：「演出空間用照明器具（軸対称配光）の光学特性の表示規格」発行、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内を配信した。

ニ．会員情報 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）
・正会員 C 吉井澄雄氏が去る 7 月 2 日に 92 歳でご逝去され、10 月 20 日にお別れの会が執り行われた。
・正会員 A 三精工事サービス（株）より役員変更のお知らせが届いた。
・賛助特別 （株）スペース・ゼロ こくみん共済 COOP ホール／スペース・ゼロより役員交代のお知らせが届いた。

・yeah（株）より賛助会員 A 入会申込書が届いた。（審議事項）
・賛助会員 A　Mayr　Japan 合同会社　上村摂氏より機構部会入部申込書が届いた。（審議事項）
・（株）スペーステックより賛助会員 A 入会申込書が届いた。（審議事項）

ホ．諸団体情報　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）
・（一社）日本舞台技術スタッフ団体連合会への加入申込書を提出し賛助会員会費を納めた。
・第 31 回「ニッセイ・バックステージ賞」受賞者決定、授賞式について、俳優座劇場より役員交代について、Japan MICE EXPO2025 開催案内が届いた。
・世界劇場会議名古屋より「世界劇場会議国際フォーラム 2026 in たけとよ」後援名義使用許可の申請書が届いた。（審議事項）

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：168 号（8/15）、169 号（9/19）、臨時号（10/2）、170 号（10/15）が届いた。

芸団協メールニュース：542 号（8/15）、543 号（9/1）、544 号（9/16）、545 号（10/1）、臨時号（10/9）、546 号（10/15）、臨時号（10/17）が届いた。

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧する。

ヘ．書籍販売状況　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）
規格販売状況（別紙資料参照）
・2025 年 11 月 10 日時点で 254,600 円の売上があった。

ト．請求書情報　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）
・JATET 規格作成費、（一社）日本舞台技術スタッフ団体連合会会費、ヤマト運輸から請求書が届いた。

その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ．HP について　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）
・JATET ホームページのアクセス解析は適宜更新している。

リ.事務局関連　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）
・10 月 20 日に KCL の方が来訪され顔合わせが行われた。
・11 月 7 日に韓国災害情報学会から依頼をうけた学術大会の講師として伊東会長が登壇された。
・JATET ホームページ改修検討委員会について、9 月 22 日に清水副会長のお知り合いの世良様と打ち合わせを行った。協会のホームページについて色々ご意見をいただいた。JATET 誌と同様に理念や誰に向けての発信になるのかが重要とアドバイスをもらった。まず、会員向け（最新かつ有益な情報を提供）、一般向け、関連団体向けの 3 つを対象として動いていきたい。その中で誰に向けてというテーマはこれから決めていくこととする。構築するには百万円程度かかる見込みである。何社か制作会社にあたり見積もりを募ることも考えている。
・令和 8 年度「事業計画書」「事業予算書」の提出を各部会長に依頼している。
・その他、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

その他

・10 月 29 日に国交省を訪問し、新しく就任された畑氏と国交省絡みの詳細の打ち合わせを行った。実施したいことがわかりそれについて切り分けの方法等が決まった。平成 3 年の指針の書き換えについては「JATET 避難指針」という指針を作ってほしいとの要望があった。
防火については主に消防庁が管轄になっているため国交省は絡まないとのことであった。
今年度の有識者との打ち合わせは難しいと思われ、来年度から動いていくことになると思われる。（西執行理事）

4. 審議事項

第 1 号議案　令和 8 年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件　　資料なし

中川専務理事より第 1 号議案　令和 8 年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件について、説明があった。

定款第 16 条の定めにより、「通常社員総会は、毎年 1 回毎事業年度終了後 3 箇月以内に開催する。」とあり、また、定款第 16 条と同内容が、社員総会運営規則第 3 条（開催）に定められている。
先ずは、令和 8 年度総会の開催についての審議をお願いする。内閣府からは、総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないと指導がある。
中川専務理事の説明の後、第 1 号議案　令和 8 年度総会開催について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、第 1 号議案の後半、令和 8 年度総会の方法並びに日時場所の決定について審議するため、中川専務理事より説明があった。
今年 5 月の総会は、エッサム神田を会場としてリアル出席のみで開催した。来年の総会も同様にリアル出席のみでの開催としてよろしいかどうか審議願いたい。

また、日時場所について 5 月の第 4 週の日時で開催場所はどこを使用するのかについても審議願いたい。

・最近は執行理事、部会長のみで行っているように思う。遠方の方もいらっしゃるので中々出席できないことも理解しているが、コロナ禍以降はリモートで出席して意見を述べる、社員の意見を聞くという機会が大事であると思う。社員の意見を聞く場として年に一度しかないのでリアルだけではなくリモートでの出席をやってみるのはどうかと思う。（西村副会長）
・過去コロナ禍の際にリモートをやったことがあるので次年度は Web とリアル開催するのでも良いと思う。（中川専務理事）

中川専務理事の説明の後、令和 8 年度総会開催の方法について審議に入り、Web とリアルのハイブリッドでの開催とすることに、全員一致で可決承認された。

続いて令和 8 年度総会開催日時場所について審議に入り、日時は 5 月 29 日（金）、選挙があるため 13 時受付、13 時 30 分からの開始、場所はエッサム神田ホールとすることに、全員一致で可決承認された。

第２号議案　韓国建設生活環境技術認証試験院「KCL」との覚書（協定書）の件　資料-1

中川専務理事より資料-1に基づき、第２号議案 韓国建設生活環境技術認証試験院「KCL」との覚書（協定書）の件について説明があった。

前回、第75回定例理事会で韓国のKCLからのMOU（覚書）締結の件について議案としたが、懸案項目が多々あり、詳細を確認した上で改めて本日の理事会で審議することになった。前回理事会以降、韓国災害情報学会及びKCLとの確認を進めMOU案がほぼまとまったので報告する。
10月20日（月）に韓国災害情報学会のキム・テファン氏、KCLから研究課題責任者のソック・ホジョン氏、主席研究員のリー・ミンスー氏が来訪され、伊東会長、西村副会長、清水副会長、市瀬副会長、国際渉外担当の小川理事と中川で第１回目の打合せを行った。
その後、JATETとしてのMOU案を作成して関係者で確認し、小川理事に修正いただいたものを最終案として、日本語版を先方に提示した。先方からは日本語版を英文に翻訳したものが送られてきている。資料-1にJATET最終案のMOU日本語版とKCLから来た英文翻訳版を示す。
本日の審議で承認いただければ、11月28日（金）16：30からMOUの調印式を行う予定。

・MOUについては、日本側は日本語で作り韓国は韓国語で作成し英文はなしにしてMOUを結びましょうとキム・テファン氏からお話があった。しかし、英語版がないと共通認識が英語で保たれなければならないだろうから英語版も必要だと中川専務理事と話しをしている。英語がきちんと決まり日本語、韓国語にそれぞれ訳すのではなくお互いが共通認識を理解するには英語版で表す必要がある。（小川執行理事）
・伊東会長がサインをされるのは日本語版と韓国版になるのか。（横井理事）
・その二つになる。英語版は共通の翻訳となる。修正を加えた要点となることをお伝えすると韓国側は日本語のサンプルをお持ちになられた。その中に権利や義務という言葉が何度かでてくるがそうなると覚書ではなく契約書のようなものに進んでしまうのでJATET側が縛られることが多くなるため、権利や義務という言葉を使うのは辞めようという点が一つ。もう一つは韓国側の政府が作成しようとしている法律であるため、そこへ協力をするということになると日本と韓国の間で日本の公益社団法人がどこまで動いていいのか色々問題がありそうである。直接協力する形ではなく、交流を通じて情報交換をしてお手伝いをすることが出来るなら、覚書という段階では一番柔軟で良いのではないかと思う。先ほど中川専務理事が読み上げた覚書の日本語版の内容で問題はないと思っている。今日は皆さんが日本語版に問題がないと判断された場合、英語版は少し修正を加えながらもう一度確認を得て作成したいと思っている。（小川執行理事）
・先日の訪問に立ち会った際に感じたことは、JATET側が最初覚書に難色を示しており、それに代わる日本語で置き換えましょうかとKCL側が提案したことで、会話をしていく中で協力内容をお互い会話することで意思疎通できた。最後の方は覚書という言葉にこだわることなく内容がこれであれば覚書でいいですよねということで最終文章は英語で調印しましょうという認識である。（西村副会長）
・3つの言語での覚書になるのでどれが正になるのか、優先順位を決めたほうがいいのではないか（西執行理事）
・今ここに事務局にて保管されているKTL（韓国産業技術試験院）と交わしたMOU（覚書）を出して頂いたが、英語版での署名にて締結されている。自身が携わって準備進行したにもかかわらず、７年前のこととは言え忘却の彼方で、今回、日本語、韓国語で覚書を作成しようと提起したことは誤りであった。あらためて英語版での締結とし、KCLともKTLとも同じ様式で締結するべきである。従って、本理事会では日本語での覚書を決議して頂き、付帯決議として日本語版に則った英語版を作成してKCL側にも承認を得た上で、英語版のMOU（覚書）にて署名、締結を行うこととする。（小川執行理事）

中川専務理事の説明の後、第 2 号議案　韓国建設生活環境技術認証試験院「KCL」との覚書（協定書）の件について審議に入り、英語版を正とし最終版を作成することで全員一致で可決承認された。

第 3 号議案　選挙管理委員会の委員選任の件　　資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づき、第 3 号議案 選挙管理委員会の委員選任の件について説明があった。

資料-2 に選挙管理委員会委員推薦名簿を示す。
役員選任規程では、(選挙管理委員会）について以下のように規定している。

第9条　役員選挙に際しては、

1　選挙管理委員会を設置する。
2　選挙管理委員の人選は、理事会が行う。
3　選挙管理委員として、理事及び監事の選挙に立候補しない正会員の中から5名を選出し、選挙管理委員会を構成する。
4　選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員の出席により成立する。
5　選挙管理委員会は、本規程にもとづき、立候補届用紙、立候補者名簿、投票用紙などの作成、投票及び開票などの業務を統括し、選挙結果を総会で報告する。選挙に関わる疑義を解釈した場合は、総会の場で報告するとともに、本会の広報により会員に周知する。
6　選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員立会いのもとで厳正に開票しなければならない。
7　選挙管理委員会は、開票事務に支障のないと判断した場合は、開票に際し正会員の任意の立会いを認めることができる。
8　選挙管理委員会の事務は事務局が担当する。

資料-2 にあるように当初、

正会員 A	(株)サンケンエンジニアリング	島村　亮　　氏
正会員 A	三精工事サービス(株)	畑中　祐介　氏
正会員 B	(株)安井建築設計事務所	佐野　吉彦　氏
正会員 C	(有）桂川研究室	桂川　潤次郎氏
正会員 C	照明家	湯澤　薫　　氏

の 5 名を選挙管理委員に推薦する予定だったが、島村亮氏より業務の都合でお受けするのが難しいとのご連絡をいただいた。島村様以外の 4 名の方につきましては快諾をいただいている。

5 名という規定があるため、理事監事に立候補されない正会員の中から選ばなくてはならず、現在、ヒビノスペーステック（株）勝又康浩氏、(株）石本建築事務所の能勢氏に打診をしている。現時点で快諾をいただいている 4 名の方と未定 1 名でご審議をお願いし未定 1 名の方につきましては事務局に一任いただきたい。万が一 5 人揃わなかった場合は、4 人となるが 3 名以上の選挙管理委員が総会に出席していただければ業務が遂行できる。
ご審議をお願いする。

・理事会で承認せず事務局に一任するのはありなのか（伊東会長）
・過去に 5 人揃わず承認した事例がないのではないか（西村副会長）
・選挙管理委員会の規定の中で 5 名を選出しなければならないとあるので、5 名選出は必要と

なる。今日審議出来るのは4名で1名が欠員となる状況で理事会としてその1名を事務局に任せていいものかどうなのかルール上の問題がある（伊東会長）
・打診している未定1名の許諾をいただいたのち書面決議で議決していただくようにする（中川専務理事）

質疑応答の後、選挙管理委員会委員選出について現時点で快諾をいただいている4名の候補者1名ずつ審議を行い、未定1名については書面決議をすることで全員一致で承認された。

第4号議案　JATET誌発行の件　　資料-なし

中川専務理事より第4号議案　JATET誌発行の件について、説明があった。

JATET誌96号は、広報部会からの提案により新しい編集者の下で構成を一新して11月初旬に発行した。96号の編集にあたっては、広報部会長が中心となって取りまとめていただいたが、かなりのエネルギーを編集作業に費すこととなり、今後のJATET誌のあり方について広報部会から多くの意見があった。

JATET誌は、JATETが創立以来行ってきた事業や各部会の調査研究成果を広く社会に公開することを目的に機関誌として発行されてきたが、JATET誌は96号をもって一旦休刊とし、主たる発信プラットフォームをWEBに移すのが社会の流れではないかという提案である。
先日の事業執行連絡委員会でも協議し、休刊もやむを得ないという意見も出たが、いつまで休刊とするのか、JATET誌の発行はやめてホームページ上での情報発信だけに切り替えるのかという問題がある。

JATET誌は収益事業として位置付けられており、広告収入で発行して、残りの利益は公益事業に使用している。広告収入については WEB 上にバナー広告を載せるのが有効ではないかという意見もあったが、ホームページの改修もこれから先、来年度以降になるためそう簡単ではない。事務局としては、機関誌としての JATET 誌は引き続き発行していくべきと考えている。
年に2回の発行は難しいかもしれないが少なくとも年1回は発行し、年度事業計画に基づいた事業実施内容を誌面で公開したいと考えている。95号から紙の誌面に加えて会員向けにPDF版の無償提供も行っており、特に法人会員の多くの社員の皆様に閲覧していただいていることも事実である。

編集体制については、せっかくプロの編集者にお願いしたが、以前の体制に戻るか別の編集者にお願いができるかなどは検討可能と思う。広報部会には編集の取りまとめはお願いするとして、特集記事については以前のように部会持ち回りで取り組んでいくことも出来ると思う。もしくは特集を組まずに部会活動の報告と広告掲載のみとすることもやむを得ないのではないかと思う。JATET誌を休刊とするのか、引き続き発行を継続していくのかについてご審議をお願いする。

・今回プロの編集者が入られて、コンプライアンスを含めて煩雑がうまれたということなのか（横井理事）
・プロの編集者は媒体の目的をすごく意識している。誰のために何を目的としてどういうコンテンツとしているのかの問いかけが最初にあった。しかし現状では何一つ答えられるものがない。もう一つはコンテンツがないことが問題であった。プロの編集者とのやり取りは広報部会長一人がつきっきりになってしまった。JATET誌を発行し続ける意味はないのではないか。広告料を収入としていただくだけであれば発行はやめたほうがいいのではないか。ま

た広告掲載をいただいているのはほとんどが JATET 会員であるため寄付になっているのではないか（西執行理事）

・JATET 誌をやめることについて、JATET 誌は 1 号からバックナンバーがあるが理念も目標もない、誰に読ませるのかもないのであればきちんと構築していくことが必要である。（中川専務理事）

・JATET 誌に掲載しなくても HP などで報告などを掲載すれば JATET 誌は会員と会員以外に対するメディアとしての存在意義を失っているのではないか。（西執行理事）

・会員への情報提供も含めて WEB もこれから大事な要素にはなってくるがそれは別途見直す必要がある。現在、加盟館の方々にもダウンロードで閲覧いただいているということは JATET 誌の評価をいただいているのではないか。（中川専務理事）

・JATET 誌を継続するということであれば編集は事務局が行い、広報部会ではもう出来ない。各部会での持ち回りも出来ないと思う。WEB を中心に行っていくのであれば、そちらに注力して進めたほうがよいのではないか。（西執行理事）

・今年の 2 月の理事会で尾澤監事からご指摘いただいてわかったことだが、会費の費用は家賃、事務局の人件費、事務所の経費にほとんどが充てられている。公益事業の費用は主に JATET 誌の広告収入である。JATET の存在意義そのものも問われているところにきており、広報部会からでている意見のとおり見直さなければいけない時期にきている。JATET の協会としては存続していかなければいけないと思うので JATET 誌継続をどうするかという議論の前にもう少し深い議論をしていかなければならないと思う。今議論となっている JATET 誌については来年 4 月に発行するということになっているが一旦休刊として見送るということで審議の採決をしたほうがいいのではないかと考える。（清水副会長）

・広告費の 400 万円（200 万円×年 2 回）がなくなったら事業は出来なくなるのであれば由々しき事態であると思う。（小川執行理事）

・事業執行連絡委員会で提案した会費の値上げも必要になってくるのではないか。いずれにしても今後の議論が必要である。（清水副会長）

・会費と広告費は別々で稟議がおりている。広告主としての理解は全国のホールに JATET 誌が置いてあったりする。企業の PR も会館の方々の目に触れることは広告として有効性はあると思っている。今の審議は運営の深い部分の話になってきていると思うので今日の審議事項としては一旦発行を見送る、一度ここで立ち止まってみるのは必要と思う。（横井理事）

・JATET 誌が行き渡らず同じ企業の中でも目に触れることがないことも事実。WEB の方が閲覧したい方には目に触れる機会があるのではないか。（西執行理事）

・議論するにも時間をかけずに進めていきたい。（中川専務理事）

・存続に関わる議論になるので広報部会が考えることではなく、理事会や事業執行連絡委員会で考えていくべきことである。もう一つは、広報部会には如何に広報していくのか、それは JATET 誌なのか WEB なのか考えてもらいたい。考える期間は発行を止めるのか休刊するのか事業が成立するのかどうなのか。（伊東会長）

・休刊となった場合、会員や関係各所に理由を示さなければならない。（中川専務理事）

・今まで JATET 誌発行に携わっているわけではないが、読もうが読まないが関係なく機関誌があるというのはいいのではないか。記録として残していくのは無駄ではないのではないか。次の世代の人たちがこんなことをやっていたのか知ることもできるのではないか。（小川執行理事）

・WEB は情報発信であったが資料の保存閲覧、規格の販売の機能がついてきて現状の HP では対応しにくいということがある。一度 JATET 誌の発行は見送るとし WEB の再構築に注力し紙ではなくデータとして後に閲覧できるかどうかは非常に大切なことでありそれを遡ってあとで読み返せるというのも会員サービスの一つではないか。（清水副会長）

・広告主は会員企業だけではない。一般企業の方からも掲載いただいている。それは掲載する価値があるから広告を出していただいていると思うのでそこも置き去りにして議論するのはどうなのか。（西村副会長）

・会費値上げのご提案を清水副会長からいただいていたが、それは広告収入がなくなることを前提としたものではなかったか。(伊東会長)
・元々そこではない。赤字が出ていて枯渇してきている面があり、資金を補うために提案した。一つで解決する問題ではなく色々なことを混ぜて検討していかなければならない。(清水副会長)
・WEB に移行するにせよ JATET 誌を継続するにせよ編集部などの新しい組織を作って事務局と連動させていくことを考えていったほうが良いのではないか。(小川執行理事)
・JATET の経営という観点からみて尾澤監事、間瀬監事のご意見はいかがか。(伊東会長)
・一番初めの原点に戻る時期にきていると思う。韓国との MOU 締結などもあり足元を見なおす必要がある。何のためにこの組織があるのかということもやはり議論が必要ではないか。(間瀬監事)
・団体を支える管理体制である事務局が出来ない団体は廃止というのが国の考えである。その一方で、あと数年で協会の運営が出来なくなるということははっきりと申し上げている。理事の間で紛糾して運営を立てなおしたり他の団体と共同運営されている所もあるのは事実である。ここで議論して方向性をしっかり構築していく必要がある。(尾澤監事)
・引き続き発行していくべきという意見もあれば休刊して一度考えましょうという意見がでている。考えるという意味は、媒体を変えていくのか、会員サービスはやめるべきではない、業界に対して JATET が発信していくことは重要なことであるが、それは機関誌ではなく WEB で進めていこう、切り替えていくことになる。その切り替えていくために JATET 誌の発行を休んでいいのか、休む期間どうやって情報を発信していくのか。これを考えるのは広報部会ではなく、別の組織を立ち上げるので広報部会がこれまで通り編集に関わることを選んでくれるかどうか。それが新しいプロの編集者が入ってきて少し質を高めようということが負担になったということ、広報部会長が一人で関わっていた。では元に戻してみるのか。(伊東会長)

質疑応答の後、JATET 誌発行について今回結論は出さずにそれぞれ検証した上で方向を決めていくことになった。

第 5 号議案　yeah（株）賛助会員 A 入会の件　資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、第 5 号議案　yeah（株）賛助会員 A 入会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案　yeah（株）賛助会員 A 入会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案　賛助会員 A　Mayr Japan 合同会社 上村 摂 氏　機構部会 入部の件　資料-4

中川専務理事より資料-4 に基づき、第 6 号議案　賛助会員 A　Mayr Japan 合同会社 上村 摂 氏　機構部会 入部の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案　賛助会員 A　Mayr Japan 合同会社 上村 摂 氏　機構部会 入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案　（株）スペーステック　賛助会員 A 入会の件　資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づき、第 7 号議案　（株）スペーステック　賛助会員 A 入会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第7号議案　（株）スペーステック　賛助会員A入会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第8号議案　世界劇場会議国際フォーラム2026 inたけとよ後援名義使用許可の件　資料-6

中川専務理事より資料-6に基づき、第8号議案　世界劇場会議国際フォーラム2026 inたけとよ後援名義使用許可の件についての説明があった。

世界劇場会議名古屋から、来年2月26日、27日に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム2026 inたけとよ」の後援名義使用許可について申請が届いている。
中川専務理事の説明の後、第8号議案　世界劇場会議国際フォーラム2026 inたけとよ後援名義使用許可について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5．その他

1)第77回定例理事会開催日程について
第77回定例理事会は、令和8年2月24日（火）14：00からの開催予定とする。

2)閉会
16時30分　伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 7 年 11 月 14 日
上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人　劇場演出空間技術協会
第 76 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事　伊東正示）	伊東正示	印
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	印
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	印
議事録作成署名人（西奈美 博）	西奈美博	印

第 77 回　定例理事会

議　事　録（正）

令和 8 年 2 月 24 日

公益社団法人　劇場演出空間技術協会

公益社団法人　劇場演出空間技術協会（JATET）

第 77 回　定例理事会　議事録（正）

日　　時：令和 8 年 2 月 24 日（火）14：00～16：15
場　　所：JATET 会議室
　　東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル　TEL：03-5289-8858

出 席 理 事：伊東 正示 会長
　　西村 岩夫 副会長（事業担当）
　　小川 幹雄 理事（国際渉外担当）
　　中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）
　　森 健輔 理事

Web 出席理事：清水 康裕 副会長（財務担当）
　　西 豊彦 理事（コンプライアンス担当・広報担当）
　　西奈美 博 理事

理 事 欠 席：市瀬 守 副会長（総務担当）
　　長谷川 祥久 理事
　　横井 裕　　理事

Web 出席監事：尾澤 輝行

監 事 欠 席：間瀬 勝一

有効理事総数　11 名、出席理事　8 名、欠席理事　3 名
　　出席率　73% 事務局（1 名）、計 8 名

議事録署名人（書記）森　健輔

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数　11 名中、8 名の出席、事務局（1 名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第
1.議長選出
2.議事録記録署名人選出

議事
3.報告事項
　1)業務報告　　伊東 正示 会長
　2)事業報告　　西村 岩夫 副会長

3)財務報告	清水 康裕 副会長
4)総務報告	市瀬 守　副会長欠席 代理 中川専務理事
5)国際協力報告	小川 幹雄 執行理事
6)コンプライアンス報告	西 豊彦　執行理事
7)広報報告	西 豊彦　執行理事
8)規程改訂作業部会報告	中川 堅司 専務理事
9)事務局報告	中川 堅司 専務理事
10)その他	

4.審議事項

第1号議案　会費改定について	資料-1
第2号議案　令和8年度事業計画の件	資料-2
第3号議案　令和8年度事業予算の件	資料-3
第4号議案　令和8年度資金運用計画の件	資料-4
第5号議案　役員の報酬及び費用に関する規程の件	資料-5
第6号議案　総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件	資料なし
第7号議案　尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件	資料なし
第8号議案　外部理事の設置の件	資料なし
第9号議案　令和8年度通常総会懇親会開催の件	資料なし
第10号議案　JATET誌発行の件	資料なし
第11号議案　正会員A（株)松村電機製作所　竹谷 俊樹氏 照明部会退部の件	資料-6
第12号議案　正会員A（株)松村電機製作所　升崎 宏昭氏 照明部会入部の件	資料-7
第13号議案　正会員A 森平舞台機構(株)　村田 浩人氏 建築部会退部の件	資料-8
第14号議案　「第3回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件	資料-9
第15号議案　令和8年度通常総会会議室の件	資料-10

5.その他

1）第78回定例理事会 開催日程（4月）について

2）閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が森 健輔 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1)業務報告 伊東 正示 会長

下記の通り、第 76 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 7 年 11 月 28 日（金） 14:00～ 第 114 回事業執行連絡委員会
令和 7 年 12 月 22 日（月） 14:00～ 第 115 回事業執行連絡委員会
令和 8 年 1 月 26 日（月） 14:00～ 第 116 回事業執行連絡委員会
令和 8 年 2 月 16 日（月） 13:00～ 第 117 回事業執行連絡委員会 を開催した。

2)事業報告 西村 岩夫 副会長 （各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。
詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

・12 月 15 日（月）に茨木市文化子育て複合施設「おにクル」施設見学会を開催した。
申込者は 132 名で参加者は 129 名と過去最多となった。
申込者の内訳は会員が 96 名（72.7%）、一般が 38 名（28.8%）であり、一般の参加者が 3 割近くあった。
・次回の見学先候補として戸田ホールを挙げていたが、空き日が取れず、現状では 5 月 8 日が最短となり、年度をまたぐため今年度の開催は見送ることとした。
新築・改修現場の候補地もピックアップしているが、年度末の稼働率の高さから今年度は断念せざるを得ない状況であるため今年度は福岡市民ホール、おにクルの 2 施設の見学会で終わることとなった。

建築部会では、

・昨年 10 月末に国交省を訪問した際に、今後の方針が示され平成 3 年指針の書き換えに相当する部分を抜粋して案を作成することとなった。たたき台を国土交通省に送付することも決定し、西副部会長から送付済みである。

機構部会では、

・「未来の駆動部」については、今年度で一旦終了し、来年度から各社工場見学を実施することとしメーカーの最新情報や安全性を確認していく。
・ライトブリッジの調査研究については、引き続き調査を進めている。
・来年度 5 月か 6 月頃にキトーの山梨工場を見学する予定である。
・来年度の部会体制として、部会長は、三精テクノロジーズ㈱の浅野氏、副部会長は、森平舞台機構㈱の山本氏、㈱小林舞台システムの真井氏、㈱サンケン・エンジニアリングの村木氏の 4 名体制となる。
・来年度の事業計画では、部会を 10 回開催し、床機構の安全指針同解説の改訂見直しを実施予定である。

照明部会では、
・照明器具工業会から IEC の離隔距離のシンボルについて質問があり、JATET で使用しているシンボルを IEC に提案したいとの問い合わせがあった。部会内で協議した結果、使用することは問題ないと判断した。
・来年度の事業計画については、当初予定していた配線実験や、IP インカムの研究は中止し、
JATET フォーラムでのアンケート結果に基づいて新たな研究会を立ち上げる方向で検討している。
・EMC 研究会では、ムービングライトのファン騒音実験結果について共有があり、ファン付きとファンなしの比較では、ファンなしの方が 1KHz から 4KHz の騒音が低く、騒音の違いが明確であることが報告された。
・EMC 研究会は、年度内で一旦終了となる。

音響部会では、
・音響電源研究会では、12 月初旬に電源電圧 100V と 200V でパワーアンプを稼働した際の電源波形、漏れ電流および出力信号の計測実験を実施した。今後、計測データを分析し来年度の秋号の JATET 誌に掲載できるよう報告書を取りまとめる予定である。
・2026 年度の事業計画は、現行の指針に記載されている音響設備動作特性の測定方法および目標値について設定経緯を遡り適切に運用できるよう再検証する。JATET－S－2050「移動及び持込音響機器における音響電源設備の安全基準」の改定作業を進める予定である。

映像部会では、
・来年の事業計画では、LED の技術やマルチメディア機器における EMC の問題点を整理し、現場で問題が出ることを避けるための事前予測・検証・対策を進めていく。

広報部会では、
・JATET フォーラムでは、スタッフを数名選出し運営に協力をした。
また、アンケートも実施しており、結果についてはまとまり次第報告する。

イ．JATET フォーラム 2025/26 について
・令和 7 年度事業「JATET フォーラム 2025/26」は、神田駿河台の全電通労働会館にて 2026 年 2 月 5 日（木）に仕込み準備・リハーサルを行い、2 月 6 日（金）に本番を開催した。
・基調講演では、「劇場ホールの演出と安全運用」をテーマに電研精機研究所　大阿久様による講演が行われた。続くパネルディスカッションでは、大阿久様および技術系部会長が登壇し、同テーマについて議論を交わした。午後の部では、技術系 5 部会による調査研究発表を行った。参加者は昨年を上回り 115 名となった。

ロ．Inter BEE 2025 について
・幕張メッセにて、2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）の開催となり広報活動を行った。延べ 120 名の来場があった。

ハ．JATET ジャーナルについて
・「やまぎん県民ホール」は未原稿があり、提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う。
・「あきた」「平塚」「世田谷」は各執筆者へ原稿執筆依頼書、承諾書を発送済み。発行は今年 6 月頃を予定している。

ニ．JATET 誌ダウンロードについて
・95 号は公文協加盟会館案内送付数 1,268 件に対し、399 件（31.5%）、会員送付数 120 件に対し、32 件（26.7%）のダウンロードがあった。
・96 号は会員案内送付数 122 件に対して 41 件（33. 6%）のダウンロードがあった。

3)財務報告　清水 康裕 副会長（閲覧資料-財務報告）
・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
・会費納入状況については、現時点で正会員 C 1 名、賛助会員 B 1 名が未納であり、12 月 12 日に再々請求書を送付している。

4)総務報告　市瀬 守 副会長欠席 代理 中川専務理事（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）
・毎月、清水副会長と共に総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
・併せて勤怠の確認を行なっている。
・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5)国際協力報告　小川 幹雄 執行理事
・11 月 28 日の理事会後に韓国建設生活環境認証試験研究院（KCL）の委員長他 3 名が JATET 事務局を来訪し MOU 調印式を実施した。また、翌月 12 月 10 日には、韓国産業技術試験院（KTL）が管理運営する公演安全支援センター（TSC）のメンバー3 名と通訳が JATET 事務局を来訪し交流歓談が行われた。今後、韓国とは韓国産業技術試験院（KTL）と韓国建設生活環境認証試験研究院（KCL）の両機関と各々の MOU に基づき交流を進めていく。
・OISTAT では、10 月 18 日から 25 日まで UAE（アラブ首長国連邦）のシャルジャで WSD（ワールドステージデザイン）第 6 回が開催された。WSD では作品展示会やコンペ、OISTAT の国際会議が開催された。国際会議では、会長と理事 7 名、5 つの委員会の委員長改選が行われた。選挙結果として、アビー コーヘン氏が再選され、理事 7 名のうち 4 名が新たな顔ぶれとなった。委員会委員長選挙では、建築委員会と広報委員会は再選、教育委員会、技術委員会、空間デザインサブ委員会は新たな委員長が選出された。作品展とコンペでは、セノフェストと呼ばれる学生や若手部門とプロフェッショナル部門に分かれ、それぞれ 7 つの分野における作品が競われた。衣装デザイン、照明デザイン、パフォーマンスデザイン、舞台装置デザイン、音響デザイン、空間とオブジェクトデザイン、ビデオとプロジェクションデザインの 7 分野である。
その他にも OISTAT 建築委員会による劇場建築コンペ（TAC2025）と OISTAT 技術委員会による技術発明賞（TIP2025）の展示があった。展覧会全体では、46 の受賞作品を含む 134 作品の展示があったことになる。WSD の名の通り国際的な舞台芸術のデザインが集合した。

6)コンプライアンス報告　西 豊彦 執行理事
・特に報告事項や問題はなし
・後程、理事に対する報酬費用等の支払についてご審議をいただきたい。

7)広報報告　西 豊彦 執行理事
・後程、JATET 誌発行についてご審議をいただきたい。

8)規程改訂作業部会報告　中川 堅司 専務理事
・後程、役員の報酬及び費用に関する規程の件についてご審議をいただきたい。

9)事務局報告

イ．内閣府情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

・「事業計画書等の提出」について案内が届いた。
・「寄附促進・公益認定等ガイドラインに係るアンケート」への協力依頼が届いた。
・内閣府 公益法人メールマガジン 第230号（11/12）、臨時号（11/13）、第231号（11/26）、臨時号（12/4）、第232号（12/10）、臨時号（12/15,22）、第233号（12/26）、臨時号（1/6,13）、第234号（1/14）、臨時号（1/19）、第235号（1/28）、臨時号（1/28）、第236号（2/12）を閲覧した。

ロ．経済産業省情報＆総務省等　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省＆総務省等）

・フリーランス・事業者間取引適正化等法の説明会開催について、令和8年度経済センサス-活動調査の事前周知について、パートナーシップ構築宣言について、軽油引取税の「当分の関税率」の廃止に伴う要請について、周知依頼の書面が届いた。

ハ．JATETニュース発行について　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

・12月3日に臨時号配信。
「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」 施設見学会（2025年12月15日（月）開催）について配信した。

・12月18日に第259号配信。
JATETフォーラム2025/26（2026年2月6日（金）開催）について、「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」 施設見学会開催報告について、InterBEE2025 JATET出展ブース報告について、JATET 事務局 冬季休業のお知らせについて、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

・1月7日に第260号配信。
JATET フォーラム 2025/26（2026 年 2 月 6 日（金）開催）について、JATET フォーラム 2025/26 懇親会（2026年2月6日（金）開催）について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

・1月20日に第261号配信。
JATET フォーラム 2025/26（2026 年 2 月 6 日（金）開催）について、JATET フォーラム 2025/26懇親会（2026年2月6日（金）開催）について、世界劇場会議フォーラム2026 in たけとよ（2026年2月26、27日開催）のご案内について配信した。

・1月30日に第262号配信。
JATETフォーラム2025/26（2026年2月6日（金）開催）残席ありについて、JATETフォーラム2025/26懇親会中止のお知らせのご案内について配信した。

ニ．会員情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

・正会員A（株）松村電機製作所　竹谷 俊樹氏より照明部会退部届が届いた。（審議事項）
・正会員 A（株）松村電機製作所　升崎 宏昭氏より照明部会入部申込書が届いた。（審議事項）
・正会員A　森平舞台機構（株）村田 浩人氏より建築部会退部届が届いた。（審議事項）

・（公財）びわ湖芸術文化財団より代表者変更のお知らせが届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ．諸団体情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

・基準協より日本実演芸術福祉財団労災保険センター「災害防止研修会」のお知らせが届いた。
・（一社）日本舞台美術家協会より「第 3 回伊藤熹朔記念賞」後援名義承認依頼が届いた。（審議事項）
・兵庫県立芸術文化センターより「第 20 回舞台技術セミナー」開催の案内が届いた。
・（一社）富山県芸術文化協会より「芸文協だより」電子配信についてのお知らせが届いた。
・（公財）神奈川芸術文化財団より事務所移転のお知らせが届いた。

・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：171 号（11/17）、172 号（12/15）、173 号（1/15）
・芸団協メールニュース： 548 号（11/17）、549 号（12/1）、550 号（12/15）、551 号（1/5）、552 号（1/15）、553 号（2/2）

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ．書籍販売状況　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）
・2026 年 2 月 19 日時点で 327,400 円の売上があった。

・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が、一般、会員を合わせて多数販売している。

ト．請求書情報　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

・OISTAT 日本センターの年会費 10 万円の請求書が届いた。
・全電通労働会館より、JATET フォーラムの音響、照明設備、技師料の請求書が届いた。
・おにクル施設見学会の附帯設備使用料金の請求書が届いた。
・InterBEE2025 レンタル料、令和 8 年度開催の総会会議室使用料の請求書等が届いた。

その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ.事務局関連　　中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

・11 月 28 日に事務局にて韓国建設生活環境認証試験研究院（KCL）との MOU 調印式を行った。
・12 月 10 日に韓国産業技術試験院（KTL）が管理運営する公演安全支援センター（TSC）のメンバーが事務局に来訪された。TSC は文化スポーツ観光省が指定する機関であり、公演の安全に関する支援を目的としハードウェアだけでなく、ソフト面も含めた公演安全全体を考える組織となっている。
・JATET ホームページの改修検討委員会は進展がない。数社から比較見積もりを取り、来年度の夏頃を目標にホームページのリニューアル作業を外注で進める予定である。
・令和 7 年度「事業報告書」「事業決算書」の提出を各部会長に依頼している。

その他、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 会費改定について 資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 1 号議案　会費改定について説明があった。

当協会の今後の安定的な運営および事業活動の継続・発展を図るため、会費体系の見直しについて審議をお願いする。

近年、物価上昇や事業実施に係る諸経費の増加等により、運営経費の負担が増大している一方で、会員サービスの向上、専門的研究活動の推進、フォーラムやジャーナル発行などの公益事業を持続的に実施していくためには、安定した財源の確保が不可欠な状況である。これまで経費節減や事業の効率化に努めてきたが、中長期的な収支バランスを踏まえると、会費の見直しを検討する時期に来ていると判断した。協会設立時に制定した金額をこれまで維持してきたが、今回初めての値上げとなる。

（案 1～案 3 の予算案を説明した。）

・会費値上げについては、理事会で審議し総会で報告の形で良いのか。それとも総会で審議となるのか（森 理事）
・総会での審議ではなく、理事会で審議され総会で報告となる。（中川専務理事）
・赤字では運営ができない。1990 年設立当初から変わっていないことにインパクトがある。（西奈美理事）

まず、中川専務理事の説明の後、会費値上げについて審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、第 1 号議案　会費改定についての値上げ幅について、審議に入り、

・案 1（全ての会員種を 30%アップ）・・・・・・・・・・・・・・・・賛成 6 票
・案 2（正会員 A、B を 30%アップ、正会員 C を 20%アップ、賛助会員 A、特別を 25%アップ、賛助会員 B を 20%アップ　）・・・・・・・・・・・賛成 0 票
・案 3（法人会員 30%アップ、個人会員 20%アップ）・・・・・・・賛成 2 票

の多数決により、案 1（全ての会員種を 30%アップ）の正会員 A 650,000 円、正会員 B 325,000 円、正会員 C 39,000 円、賛助会員 A 130,000 円、賛助会員 B 19,500 円、賛助特別会員 26,000 円に値上げすることで可決承認された。

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画の件 資料-2

中川専務理事より第 2 号議案　令和 8 年度事業計画の件について、説明があった。

通常総会の議案書に入れる報告事項として、第 1 号報告　令和 8 年度事業計画書の案を示す。令和 8 年度の事業活動は、令和 4 年 6 月 1 日に改正した定款に基づき、令和 8 年度に新たに選任予定役員による組織体制にて、事業活動を定着させ推進する年度となる。

令和 8 年度は、急激な国際社会の変動を確実に捉え、新しい潮流を迅速に取得し本会の公益事業に反映する。併せて、不特定多数の国民のために、定款第 4 条に掲げる公益社団法人としての事業活動を余すところなく実行する。

本会の会員が、JATET の存在意義と会員であることを実感し、誇りを持てる公益活動を活発に行うとともに、本会の活動を積極的に全国に向けて訴求する体制を強化する。

1. 会議　1）総会　2）理事会、2. 委員会　1）事業執行連絡委員会、3. 部会計画　1）教育研修　2）建築　3）機構　4）照明　5）音響　6）映像　7）広報、4. JATET フォーラ

ム、5. 国際交流、6. 国内交流、7. 発刊物について、計画案を説明した。
本日の審議で承認を得られたら、3 月末日までに内閣府に、令和 8 年度の事業計画として提出する。
中川専務理事の説明の後、第 2 号議案　令和 8 年度事業計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案　令和 8 年度事業予算の件　資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、第 3 号議案　令和 8 年度事業予算の件について説明があった。

先ほどの事業計画案を基に予算案を作成した。総会議案書に入れる第 2 号報告として、令和 8 年度収支予算書の案を示す。令和 8 年度は、受取入会金として、正会員 C が 1 名、賛助会員 A が 1 社、賛助会員 B が 2 名の入会を想定している。
受取会費は、正会員 A が 18 社、正会員 B が 9 社、正会員 C が 23 名、賛助会員 A が 31 社、賛助会員 B が 33 名、賛助会員特別が 11 団体となる予定で、新規入会想定分を合せて、合計 20,481,500 円となり、入会金との合計は 20,631,500 円となる。
事業収益は、フォーラムの開催収益として 600,000 円を計上した。参加費を 5,000 円として、参加者を 120 名と想定している。発刊物の販売収益は 300,000 円、音響部会セミナー収益として 100,000 円、施設見学会は、教育研修部会の計画として 3 施設を考えており、見学会資料代として、855,000 円の収益を予定している。
JATET 誌の発行は年 2 回とし広告収益は、18 社からの広告掲載を想定して、7,200,000 円とした。事業の収益としては 9,055,000 円となり、入会金・会費収入を加えた経常収益の合計は 29,686,500 円となる。

資料 3-2 に事業費の内訳を示す。給料手当は今年度と同様とした。部会費は、各部会からの予算金額をそのまま入れてあり、合計金額は 1,320,000 円となる。JATET フォーラム開催費は、会場費その他の経費で 2,000,000 円を予算として見ている。Inter BEE 展示開催費として、今年度の実績を元に 300,000 円を計上した。JATET ジャーナルは、3 施設分として 3 号の発行を目指して 450,000 円を計上した。ホームページ運用費は、例年 450,000 円ほどを見ているが、Web ページの改修費用として 1,050,000 円程度を想定して 1,500,000 円とした。JATET NEWS 発行費は例年通り。海外交流費は、OISTAT 会費および招待費等で 200,000 円、国内交流費は、全国公立文化施設協会、基準協その他で 140,000 円とした。施設見学会費用は、教育研修部会の予算に合せて 553,000 円、会場使用料など必要経費として 300,000 円を計上した。JATET 誌発行費について、冊子の印刷は会員、官公庁、広告主用、事務局の在庫を含めて 800 部と想定して、2 号分の 4,000,000 円を計上した。福利厚生費その他の項目は例年並みとしている。

資料 3-3 に管理費の内訳を示すが、ほぼ固定費的に出ていく内容で、今年度と同様の金額を計上した。資料 3-1 に戻って、事業費の合計が 23,228,000 円、管理費が 7,467,000 円となり、経常費用の合計は 30,695,000 円となる。経常増減額はマイナス 1,008,500 円ほどとなり、今後の会員の増強を図ること、フォーラム以外の事業も行わないと非常に厳しい状況にある。

2 月 10 日に、令和 8 年度事業予算について、尾澤会計事務所と打合せ確認を行った。
令和 8 年度事業予算の他に、2 月 13 日には今年度の事業決算について見込みの作業を行った。この際に見込みを算出したところ、公益目的事業比率は 47.3%でした。50%以上を確保するには、何らかの対策が必要であると財務担当の清水副会長とやり取りをしてきた。

先週の金曜日に、清水副会長から連絡をいただき、公益事業、収益事業、法人会計に配賦している給与手当の配賦率の数字が違うのではないかと指摘を受けた。
確認したところ、法人会計の率が 40%で従来配賦しているが、50%を超えた数字が配賦されており数字の間違いが発覚した。修正後は公益目的事業比率が 47.3%から 55%ぐらいになることがわかった。

・HP の改修を実施した場合、公益目的事業になることは問題ないのか（西執行理事）
・問題はない。（中川専務理事）
・家賃の値上げも昨今相次いでいるが値上げはないのか。（西執行理事）
・2 年に一度事務所賃貸の更新があるが、もしかしたら値上げの要望があるかもしれないがその際は相談させていただきたい。（中川専務理事）
・今年度予算に対して決算のところで、部会費について、来年の予算はとっているが予算通りにやると単年度の収支がマイナス 1,000,000 円ほどになる。それを認めるとなると各部会、部会費をきちんと使ってもらわないといけないが大丈夫なのか。（伊東会長）
・来年度は、特殊な事情が 2 つあり、まずは HP の更新で例年より 1,000,000 円予算を上げている。部会費については、実質使ってもマイナス 1,000,000 円になるので特定費用準備金から支出をすればその分、若干プラスに転じることになる。その翌年以降は来年度に事業を見直していけば乗り越えられるとみている。（清水副会長）
・特定費用準備金から支出することは出来るのか。（森理事）
・法令が変わり従来の特定費用準備金の概念（特定の目的以外に使用できない）が公益充実資金という名称に代わり、一つの特定した事業に使うのではなく複数の事業にわたって積み立てることができるようになっている。（中川専務理事）

中川専務理事の説明の後、第 3 号議案　令和 8 年度事業予算の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第　4 号議案　令和 8 年度資金運用計画の件　　資料-4

財務担当　清水副会長より資料-4 に基づき、第 4 号議案　令和 8 年度資金運用計画の件について説明があった。

令和 8 年度の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和 8 年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱 UFJ、みずほ、ゆうちょの 3 銀行の普通預金・定期預金での運用を原則とする。
2026 年 1 月 31 日現在の現預金残高は、方針書に示したとおり残高合計は、6,838,924 円となっている。

財務担当 清水副会長の説明の後、第 4 号議案　令和 8 年度資金運用計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案　役員の報酬及び費用に関する規程の件　　資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づき、第 5 号議案　役員の報酬及び費用に関する規程の件について説明があった。

2 月初旬に、公益法人の理事に講師を依頼して報酬を支払う件について、利益相反に当たらないか西理事から相談があった。当協会では、理事にセミナー講師を委嘱し、または JATET 誌等の原稿執筆を依頼した場合、謝礼支給規程に基づき講師料および原稿料を支払っているが、役員の報酬及び費用に関する規程にはその旨が明記されていない。理事が講師として報酬を得る場合は、理事会の承認が必要とされ、理事会議事録にはなぜその理事に依頼したのか、報酬額の決定根拠、当該理事が決議に参加していない事実を明確に記す必要がある。役員の報酬及び費用に関する規程第 3 条（報酬の支給）に、4 役員が本会の諸事業にて講師を務めた場合、本会から依頼した機関誌などの執筆を受諾した場合に謝礼を支払うことができる。この際、当該理事は理事会審議および決議に加わることはできないという条項を追記した。また、それ以外に役員に報酬を支払う場合は、都度理事会決議を経て決定する。前項 4 と同様に当該理事は理事会審議および決議に加わることはできないという条項を追記した。

この規定については、5 月 29 日開催予定の社員総会で決議を受ける予定である。

・講師や執筆依頼をして費用を辞退する場合、公益目的事業比率で考えるとその費用をみなし費用として積み上げられないのか。また、JATET フォーラムでボランティアとして数十名の方々に協力いただいているので、その方々の費用もみなしとして計上出来ないのか。（西村副会長）
・発生したはずの金額、無償による金額がどれぐらいになるのか根拠を示しつつ算出すると大きな額になると思われるので、決算の見込みの際、着地がどのぐらいになるのか踏まえた上で計上できるか検討していきたい。（中川専務理事）

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案　役員の報酬及び費用に関する規程の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案　総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件　　資料-なし

中川専務理事より第 6 号議案　総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について説明があった。

定款では、

（書面表決等）『第 21 条　社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。

2　前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。

3　第 1 項の場合における前 2 項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。

4　社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない』

とあるので、本理事会で承認をお願いしたい。

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案　総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案　尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件　　資料−なし

中川専務理事より第7号議案　尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件について説明があった。

役員選任規程では、(役員の選任)「第 6 条　役員（理事及び監事）は定款第 27 条の定めにより、社員総会において、正会員（法人又は団体の場合にあっては、会員代表者とする。以下同じ）のうちから選任する。ただし、特に必要があると認められる場合は、理事にあっては 2 人、監事にあっては 1 人を限度として、理事会の承認を得て推薦された者が、総会の選挙で当選した場合に限り、正会員以外の者を理事又は監事に選任することを妨げない。」と規定している。従って、尾澤監事を来期監事候補者として推薦するにあたり、本理事会の推薦が必要である。

中川専務理事の説明の後、第 7 号議案　尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案　外部理事の設置の件　　資料−なし

中川専務理事より第 8 号議案　外部理事の設置の件についての説明があった。

昨年の制度改正により、公益社団法人においては、事業等の収益額・費用額が一定規模（年間 3,000 万円超）となる場合、少なくとも一人以上の外部理事と外部監事の設置が求められる取扱いが示されている。

これは、公益法人が一定規模以上の事業活動を行う場合に、経営の透明性・客観性を確保し、利益相反の適切な管理を行うためのガバナンス強化措置である。

外部理事は、法人の業務執行に直接関与しない独立した立場から、理事会の意思決定を監督し、必要な助言を行う役割を担う。

今年度の決算では事業収益、費用ともに 3,000 万円を超える見込みはないが、来年度の事業収益と費用が 3,000 万円を超える場合には、現在の外部監事に加えて 1 名の外部理事を設置することが必要となる。3,000 万円を超える・超えないという判定時期は、最終事業年度の計算書類において基準を超えている場合は、原則として外部理事を設置する必要がある。従って、来年度の決算見込みが立った時点では外部理事の設置が求められる。

尾澤監事にご相談したところ、性急に外部理事を置くことなく、来年度の事業の状況を見ながら必要に応じて、理事会で審議し決議すれば良いと助言をいただいた。

以上の状況から、外部理事の設置は性急に行わず、来年度の決算見込みが立った時点で、外部理事を選任することを決定することでよいかご審議をお願いしたい。

・3,000 万円を超えて、翌年 3,000 万円を下回った場合はどうするのか（西執行理事）
・一旦外部理事を置いた場合、ガバナンス強化として直接事業に関与していない外部の理事を迎えて我々の仕事を監視してもらうという趣旨に基づいて 3,000 万円を下回っても継続して理事を置くこととしたい。(中川専務理事)

中川専務理事の説明の後、第 8 号議案 外部理事の設置の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案　令和 8 年度通常総会懇親会開催の件　　資料-なし

中川専務理事より第 9 号議案　令和 8 年度通常総会懇親会開催の件についての説明があった。

令和 8 年度通常総会は、エッサム神田で 5 月 29 日（金）13：30 から開催予定である。
場所は神田駅周辺で検討し会費制としたい。

総会の中で 2 年に一度の選挙もあり、終了予定は 17 時頃としているが、その後に懇親会を開くかどうかご審議をお願いしたい。

・関連団体の方に講演をいただいてその後に懇親会をするということも検討してはどうか。（伊東会長）
・会費制で任意でやるということは公式行事では少し違うと思うが、公式の行事として何か催し等の要素をつけてやるのはどうか。（伊東会長）

中川専務理事の説明の後、第 9 号議案　令和 8 年度通常総会懇親会開催の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案　JATET 誌発行の件　　資料-なし

中川専務理事より第 10 号議案　JATET 誌発行の件についての説明があった。

前回の理事会でも廃刊とするか休刊とするか議論がされてきた。
JATET 誌の広告収入は協会にとって大きな収益となり、今年度は 1 号の発行であったが現在の危機的な財政を考慮すると 2 号発行は必要であると考える。
今までは、広報部会を中心に編集作業を行ってきたが負担が大きい。今後は、（株）シアターワークショップ様に編集経験のある方がいらっしゃるので、その方を中心に発行へと進めていきたい。今年度は 2 号発行することでご審議をお願いしたい。

・会員の皆様に JATET の活動内容や様々な情報を提供するためのツールとして今のところは紙媒体で JATET 誌を発行する必要がある。行く行くは、SNS での活用に移行すると思うがそれまでの期間ブランクがないようにしていきたい。
基本的には広報部会が中心となってそのお手伝いをするという位置づけになる。
（伊東会長）

中川専務理事の説明の後、第 10 号議案　JATET 誌発行の件について審議に入り、西理事は棄権し他全員一致で可決承認された。

第 11 号議案　正会員 A（株)松村電機製作所　竹谷 俊樹氏 照明部会退部の件　　資料-6

中川専務理事より資料-6 に基づき、第 11 号議案　正会員 A（株)松村電機製作所　竹谷 俊樹氏 照明部会退部の件についての説明があった。

2 月 3 日付で部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案　正会員 A（株)松村電機製作所　竹谷 俊樹氏 照明部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案　正会員 A (株)松村電機製作所　升崎 宏昭氏 照明部会入部の件
資料-7

中川専務理事より資料-7 に基づき、第 12 号議案　正会員 A (株)松村電機製作所　升崎 宏昭氏 照明部会入部の件についての説明があった。

2 月 3 日付で入部申込届が届いている。
第 11 号議案 竹谷俊樹様の退部をうけて後任として入部する。

中川専務理事の説明の後、第 12 号議案　正会員 A (株)松村電機製作所　升崎 宏昭氏 照明部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案　正会員 A 森平舞台機構(株)　村田 浩人氏 建築部会退部の件　資料-8

中川専務理事より資料-8 に基づき、第 13 号議案　正会員 A 森平舞台機構(株)村田 浩人氏 建築部会退部の件についての説明があった。

2 月 17 日付で部会退部届が届いている

中川専務理事の説明の後、第 13 号議案　正会員 A 森平舞台機構(株)村田 浩人氏 建築部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案　「第 3 回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件
資料-9

中川専務理事より資料-9 に基づき、第 14 号議案　「第 3 回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件についての説明があった。

2025 年 5 月に「第 2 回伊藤熹朔記念賞」が開催され、その際にも後援名義使用について承認している。

中川専務理事の説明の後、第 14 号議案　「第 3 回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

【追加審議事項】
第 15 号議案　令和 8 年度通常総会会議室の件　資料-10

中川専務理事より資料-10 に基づき、第 15 号議案　令和 8 年度通常総会会議室の件についての説明があった。

前回の理事会で総会日時場所について、ご審議いただき場所はエッサム神田ホールで承認されたが、会場費を少しでも抑えられるかもしれないと神田周辺を調べた。
水道橋駅の近くに 30,000 円以内の会議室があり、エッサム神田ホールの会議室よりかなり値段を抑えられる。まだ、エッサム神田には会場費の支払いはしていない。

空き状況を調べたところ、収容人数を考えると 101 会議室、2F 教室のどちらかに変更できたらと思う。ご意見をいただきたくご審議をお願いしたい。

中川専務理事の説明の後、第 15 号議案 令和 8 年度通常総会会議室の件について審議に入り、事務局に一任することとして、全員一致で可決承認された。

5．その他

1)第 78 回定例理事会開催日程について

第 78 回定例理事会は、令和 8 年 4 月 28 日（火）14：00 からの開催予定とする。

なお、令和 8 年度通常総会は 5 月 29 日（金）13 時受付開始となる。

日程の確保をお願いする。

2)閉会

16 時 15 分　伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 8 年 2 月 24 日
上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人　劇場演出空間技術協会
第 77 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事　伊東正示）	伊東 正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（森 健輔）	森 健輔	